

No. 31 >>> Contents

●提携支援センターから

「実は 100% 本物って凄いこと」

..... 玉小石牛首紬研究会 代表 大門屋（店主） 高橋 弘直 ————— ①

「諏訪の絹」に再び光を

... 松澤製糸紬工房の会 副会長（コーディネーター） 清水 武彦 ————— ⑤

京都市で純国産絹製品展を開催..... ————— ⑨

平成 25 年度第 1 次分の純国産絹マーク使用許諾状況 ————— ⑬

提携支援センター活動日誌 ————— ⑮

●蚕糸絹情報

シルクシンポジウム 2013（絹の未来への新しい風）を開催して

... 日本シルク学会第 60 回記念大会 実行委員会 副委員長 瓜田 章二 ————— ⑯

●全国連絡協議会だより

札幌三越「純国産宝絹（takaraginu）展」の開催..... ————— ⑳

●国内情報

シルク遺産を訪ねて⑩ 町田市立博物館

..... 東京産業考古学会 副会長 平井 東幸 ————— ㉕

●イベント情報..... ㉗

●現在、活動している提携グループの内容一覧..... ㉙

●純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧..... ㉙

●蚕糸絹関係博物館一覧..... ㉙

●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧..... ㉙

●統計資料（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。）..... ㉙

実は 100% 本物って凄いこと

玉小石牛首紬研究会

代表 大門屋（店主） 高橋 弘直

お茶の飲み上がり、着物の着上がり

なんでも鑑定団が面白いですね。特に、自称骨董マニアが延々と講釈を述べた後にニセモノと鑑定が出ると・・・、人の不幸は蜜の味！ 申し訳ないが、笑ってしまいます。

皆さん、お茶碗はお持ちですよ。ご飯を食べる時の必需品で価格も安くて好みもいろいろです。しかし、お抹茶を頂くにはいかがでしょうか？ ご飯茶碗で飲んでも美味しくないですね。やはり、手の中にしっとりと納まりしかも口当たりのいい抹茶茶碗で飲まないと・・・。



写真 1 幸兵衛窯茶碗

また、ご飯茶碗は割れたら廃棄が当たり前ですが、名器と言われるものは割れても金継ぎによって綺麗に修復され、この部分の金を景色として扱われます。

これ、着物の世界にも通じるところがいっぱいあって、普通にファッションとしてお召しになる着物はある程度種類が必要だし、時代を越えて伝えられる価値ある着物も女性として生まれたなら一枚は欲しい。特に、伝統技術の後継者がいない貴重な染織となれば尚更で、古代裂地として美術館に入るものもあります。

以前、桃山時代に作られた双子の茶碗が偶然に発見されて話題になりました。茶人にこよなく愛された茶碗は茶渋によって時の流れを表現された名品と評価されましたが、片一方の大切に蔵に保管されて使用されず時間が止まったままの作品は逆に評価が低く、両者は別物となって存在していました。

着物でも、普通は仕立て上がった時が最

高の状態ではドンドン劣化していくものですが、玉小石牛首紬のように着ることによって玉繭 100%の節が擦り切れて光沢と風合いを増し、買われた方の手で年月を経て素晴らしく熟成されるものもあります。

それは、絹の表面にあるセリシンを完全に除去して、ムラなく化学染料で染めた完成品をお客様に提供するという考えの着物が主流の中であって、昔ながらの精練法を守って生糸が本来持っている強さを保ち、空気を取り込む座繰り製糸によってしなやかさを出し、着ることによって残っているセリシンが少しずつ剥がれ落ちて、すべすべ感と光沢を増してくれる伝統の技があります。立ち戻って調べてみると、何も科学がなかった時代に先人が長い年月を経て試行錯誤してきたことが、実は見事に理に合っていたとわかってきました。

100% 本物って、気骨の塊だ

財大日本蚕糸会が中心になって純国産繭のアピールを一生懸命していますが、なかなか消費者に浸透しないのは、販売側の小売店が本当のことを言えない、言ったら返



写真2 玉繭づくりに、昔の飼育技を復元
(山型まぶし)

ってくる苦情の方が怖い、そんな事情が裏にあります。

「着物の 99%が実は外国産繭ですよ」って言わなきゃ純国産繭のアピールにはならないし、言ったら「今まで買った私の高い着物の原料が中国産繭だったの？」って言われそう。

ある呉服屋さんは、「本当のことを知らないことが幸せだよ、世の中に出ているほとんどの着物はモドキだから、知ったら不幸だ」と。

ただ、100%本物を作るのは、「作り手の意地」です。

まず第一に、

純国産繭でも中国産とは断トツの違いを見せる蚕種でなければ意味がありませんから、養蚕農家の技量を問われます。

農業の片手間ではまことに無理な仕事で、桑園整備や飼育所の温湿度ならびに衛生管理などプロの技術取得が必要となります。

第二に、

すばらしい繭をどう乾燥し製糸するかです。高価な繭を従来の電気乾燥や高速自動製糸ではその繭の特徴が十分に表れません。炭火による遠赤外線乾燥は繭が焼き芋の如くジューシーになり、座繰りによる糸引きは空気を取り込んで、冬は暖かく初夏は汗を吸収してくれ、着る者を心地よくしてくれます。せっかくの高品質な繭をこの工程でコストダウンしてしまうと、繭の特徴が死にます。



写真3 100%座繰りの生糸づくり

第三に、

精練です。この豊富なセリシンを完全除去する現在の精練法では、ただでさえ高価な純国産繭を使用する意义がありません。松坂牛が美味しいのは脂肪に甘みがあるからで、それを除去してヒレだけ焼いても美味しさ半減です。正倉院裂地や桃山・江戸時代の衣装を分析してもセリシンがあってこそ残った！とわかって来ました。

第四に、

製品を厳格に徹底管理することです。製品番号の打印によって、いつどこへ流通したかコンピューターにて調査ができる状況に置き、ネットにニセモノの流出がないかの見張り、と、安売りをされた場合の販売ルートチェックが信頼獲得に必須です。海外のブランドがしっかり維持できているのは、この管理を長年にわたって厳格に実行したからこそです。

モドキが本物を駆逐する

私が常々、呉服屋さんやお客様に言っ

ている言葉です。安価なモドキ商品を買った人はホンモノを買ったと勘違いしているし、その分、ホンモノは売れなくなります。さらに着物に感性のあるマニアがそれを着た場合、「これは謳い文句ほど着心地の良いものではない」と悪評を言って本物の評価さえも落してしまいます。悲しいことです。

宝石でも美術品でも、本物が貴重で価値があればあるほど必ずその需要に応えるべくニセモノが出てくる訳で、これは人間に欲望がある以上どうしようもないことなんでしょう。

でも、100%の本物は大量生産ができるはずもなく、手間がかかる分高価になるし生産量も少な過ぎます。伝統を守りたいという高貴な精神を持ってものづくりをしている尊い人に脚光が当たるのはいいことだし、マスコミがPRしてくれるのも大切なことだと思います。しかし問題は、それを利用して金儲けに走る商品があまりに多過ぎることです。真面目にやっけては飯が食えない。同じ工房の中にホンモノとモド



写真4 精練は時間が命

キが混在するのも見えています。余程、審美眼を持った呉服屋でないと見分けられません。100%の本物を知らないともドキは区別できませんからね。

私どもでは「玉小石牛首紬」を生産していますが、100%本物にこだわるため今年の年間生産量は、非常に少量です。それだけでは経営としては成り立ちませんが、従来の牛首紬づくりにフィードバックできる発見がいっぱいあり、また、こんな素晴らしいものを作る技術と研究が加藤改石工場にはあるんだというアピールが、他の製品との差別化に非常に有効であります。

外国産を圧倒する違いが必要

純国産繭をブランド化するには、養蚕農

家の技術向上を図り、外国産繭を圧倒する高品質な繭づくりが先決です。

それは素人の呉服屋やお客様が直ぐにわかるくらいの圧倒的違いです。お客様が何の知識も得ずに、触れて、羽織って、「うわー、軽い〜、きれい！」を聞きたくて、頑張っているんです。

パンフや講釈を展示会場にて必死に述べても、講演会を聞きに来ている訳ではありません。直感で女性のハートに響いて、欲しい！と思わせられるポテンシャルを有しているかどうか？それを感じられないと高いお金を出してくれません。販売に携わる者として、この圧倒的違いが欲しいんです。

それには、「最初から最後まで100%の本物づくり」が必要です！



写真5 証紙で玉小石牛首紬を厳しく管理

「諏訪の絹」に再び光を

松澤製糸紬工房の会

副会長（コーディネーター） 清水 武彦

新聞報道が発端

昨年、春繭生産が始まろうとしていた時、長野県の地方新聞「信濃毎日新聞」（長野県では「信毎」と呼ばれ大手新聞社より購読者が多く 140 年間信州人に愛されている）に茅野市で唯一養蚕を行っている牛山金一さんの記事が掲載されました。牛山さんは長野県内では 61 歳と養蚕従事者では一番若く、県内一番の生産量を誇っており、松澤製糸所においても優良繭を年間約 500 kg 生産・供給していただく重要な養蚕農家のお一人です。また、特筆すべきは金一さんの 86 歳になるお母さんがご健在で養蚕のシーズンが始まると桑畑に出て稚蚕飼育に必要な若芽を摘み約 11 万粒の蚕種を自家で稚蚕飼育を行い、お二人で全齡桑

育により蚕を大切に飼育しています。私共が牛山宅へお伺いするとお母様は腰をかがめながら桑畑に入っており、いつもお元気で迎えてくれます。「今年も宜しくお願いします」と言うと、「元気なうちは続けます、私は蚕を育てる事で元気をいただいている、蚕が愛おしい」と常々言っております。このような考えで飼育してくれている事に大変感動しております。

この牛山さんが諏訪地域では最後の養蚕農家であること、生産された繭が下諏訪の松澤製糸所で製糸されていることが記事に取り上げられ先ほどの通り信毎に掲載されました。

この記事を見た同じ地域の上諏訪にある、呉服店「染と織 やまだ」の山田社



写真 1 牛山さんの桑園 風景



写真 2 桑育による稚蚕飼育



写真3 松澤製糸所での繰糸工程

長さんがまだこの地域で養蚕と製糸が行われ、まさに純国産の着物の原料が身近に存在する事を知り大変驚いたとのことでした。

この地域は古くから養蚕業が盛んな地域でまた岡谷市、下諏訪では製糸業が栄え、上諏訪には大製糸の片倉財閥が造った温泉・保養施設「片倉館」もあり地域の方々も蚕糸業をご存じの方も多かったのですが、日本の蚕糸業の衰退とともに県内の蚕糸業も疲弊して多くの方々から忘れられた産業になってしまい、着物に携わる方ですら、このように驚かれる現状になったのでしょう。

提携グループに新しい仲間

その後、このことを発端にして山田社長さんと直接お会いし、現在の蚕糸・絹業提携システムのお話をさせていただきました。県内の蚕糸絹業に携わる方々と共に連携し、養蚕農家の所得向上、信州繭・絹のイメージアップ、養蚕から織物までの伝統文化・技術の伝承等に取り組むことで、蚕

糸絹業の振興や発展を図ることを目標としている私どもの提携グループにご協力をお願いできないかご説明し、ご賛同を得て当会の会員になっていただきました。この際、山田社長さんは着物販売の現状を憂いており、自分は着物を着ていただける方に適正な価格で販売したい、そのためにリスクを覚悟で牛山さん生産の春繭生糸を手当てするとご提案があり、当提携グループとしてこのプロジェクトを積極的に推進していくことをお約束いたしました。

当グループのメイン製糸工場（松澤製糸所）は国用製糸として42中など太織度生糸を主に生産を長い間続けてきました。しかし、蚕糸・絹業を取り巻く状況が変わり、蚕糸・絹業提携システムに移行以来、原料繭を全て国内産繭にし、財大日本蚕糸会の援助で細織度生糸や小ロットに対応できる設備投資を行い、コスト主義から大きくかじを切り、良い生糸作りに生産目的を切換え、現在ではユーザーの要望に合致する良い生糸になっていると自負していることや、更なる糸質改善のため、選繭を徹底的に行い、良い繭だけを選び出し煮繭後も選繭をするなどして日々繭を磨き、繰糸時は回転数を落とし、粒付け管理など織度偏差についても徹底的に管理し良質生糸を生産していることなどを丁寧に山田社長さんにお話をしました。

新プロジェクトのスタート

このような事情から、昨年の春から信州の技をコンセプトに「諏訪の絹」プロジェ

クトをスタートしました。今回の山田社長さんの希望する生地は長浜縮緬の後染用白生地です。私どもとしては良い生糸と自信を持っておりますが、これ迄の多くは先染め用でしたので一抹の不安がありましたので、今回は牛山さん生産の春繭から当グループ製糸工場の今できる一番良い生糸を提供させていただきました。昨年秋、機屋さんから仕上がった白生地を手にした時は、予想どおりの手触りで安堵と感動が伝わってきました。

加えて、信州諏訪発信の着物と言うコンセプトの下、山田社長さんは出来上がった反物を県内の友禅作家さんに諏訪地域の名山である「八ヶ岳」をデザインした訪問着の作成を依頼し、何度も柄・色など意見交換を行い「諏訪の絹」のイメージの着物に仕上げられました。

次いで、このプロジェクトの広報・販売戦略会議を開催し、関係構成者一堂が山田社長さんの呉服店に参集、具体的な「諏訪の絹」宣伝活動や「純国産絹マーク」の使用申請などを決定して動き始めました。



写真4 完成した「八ヶ岳」訪問着を
純国産宝絹展に出品



写真5 呉服店「染と織 やまだ」にて
「諏訪の絹」展を開催

本年正月明け早々には、信濃毎日新聞の一面に今回のプロジェクト概要を大々的に掲載することが出来、完成した商品はやまだ呉服店での展示会に先駆けて、1月14・15日行われた純国産宝絹展（主催：蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会、場所：東京の銀座三越）に出展する機会を得て「諏訪の絹」純国産きものとして地域ブランドとして発信するとともに、1月末には国産繭・生糸の稀少性を活かした絹製品に生産履歴を明示する「純国産絹マーク」の使用許諾を大日本蚕糸会から取得することが出来ました。

メインイベントは、上諏訪の呉服店「染と織 やまだ」で2月4日から19日まで「諏訪の絹」展を開催いたしました。今年のご存じの諏訪湖の御神渡りが出来るほど寒い日が続きましたが、信毎の新聞報道など広報活動の成果もあって多くの消費者にご来場いただいて「諏訪の絹」に再び光をあてることができ、販売面でもより良い成績を上げることになり、ご協力いただいたマスコミ等関係者の皆様に感謝申し上げる

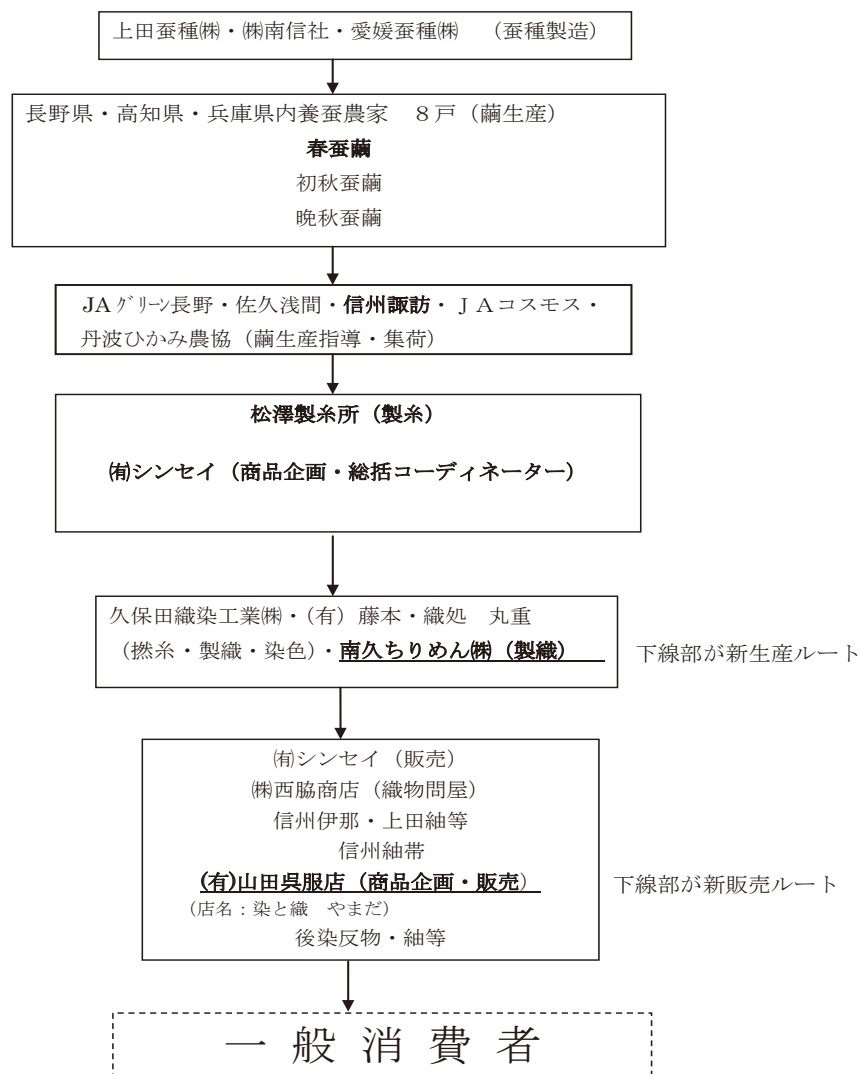
次第です。

今後の課題

今回の事例の成功は、当提携グループに新たな生産・販売ルートを確立することが出来ましたが、同時にこれからの課題もみえてきました。当グループの取り扱う生糸生産のハード面は、前述のように大日本蚕糸会のご協力・援助によりユーザーの要望にこたえる少量多品種の生産体制を確立しつつあります。

しかし、残るソフト面においては取り扱う最終製品によってそれに合わせたノウハウの蓄積が必要です。同時に広報活動をより充実させ、身近に純国産の原料は存在していることを事あるごとにアピールすることなどの課題に日々努力し、まい進したいと感じております。また、繭生産者がいる限り、全国の織物生産者に使っていただける良質生糸生産を心がけ、さらなる取扱製品の品質向上、提携グループ全体の経営改善に取り組んでいく所存でおります。

提携システム「松澤製糸紬工房の会」体系図



京都市で純国産絹製品展を開催

～きもの文化の中心・京都に集う皆様へ 純国産絹の魅力を発信～

蚕糸・絹業提携支援センター

平成 25 年 6 月 1 日（土）～ 5 日（水）までの 5 日間にわたり、本会は、京都産業会館 4 階展示場（京都市）において「純国産絹製品展」を開催しました。一般社団法人日本絹人織織物工業会、京都織物卸商業組合、一般社団法人全日本きもの振興会、西陣織工業組合から後援を頂きました。

開催の目的

この展示会は、きもの文化の中心である京都において流通業界、一般消費者等に純国産絹製品の魅力を発信することを目的として開催されたものです。この時期は、京都・室町の染漬問屋・室町商社の商談会が集中して開催され、全国の産地問屋、呉服専門店が京都に集まる時期です。

また、日程の中に土、日を入れたことにより、きもの愛好家などの一般消費者にも見学しやすい日程としました。

なお、本展示会は、本会が実施している「蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業」の一環として開催したものであり、本年度で 21 年度から数えて 5 回目の開催となりました。

出展者は 27 者で、うち洋装関係者が 3 者及び寝具関係者が 2 者参加し、本年から天蚕のハイブリッド糸を使ったショール、博多織の帯が出品され、質量ともに充実して 400 点余りになりました。



写真1 特徴ある蚕品種（松岡姫と上州絹星）で製作した品格のある色無地（(株)伊と幸）



写真2 ストールの製織（手前）及び繭クラフトの実演（奥）（西陣織工業組合）



写真3 世界遺産の登録が期待される「富岡製糸場と絹産業遺産群のパネル」

展示出展者の増減の内訳は、昨年より8者増え、5者が減り結果として3者増えました。21年度18者、22年度19者、23年度20者、24年度24者と参加出展者と出品品目は、着実に年々増加してきています。

展示の内容

製品の生産過程のパネルを展示するとともに、蚕糸・絹業提携システムの概要及びこれらを解説したビデオも放映しました。

また、上州式座繰器での繰糸実演、群馬県が開発した蚕品種（ぐんま黄金、ぐんま200）による蚕の飼育と営繭の様子を展示、養蚕用具及び繰糸用具の展示並びに西陣織工業組合によるタペストリーの製織及び繭



写真4 賑やかな展示会場（1）

クラフトの実演を行いました。

更に、世界遺産の登録が期待される「世界遺産富岡製糸場のパネル展示」を行いました。

来場者に「出展目録」を配布して、出展者、展示製品、繭産地及び製糸業者を紹介しました。

なお、京都新聞が、6.1（土）朝刊（写真掲載）に記事を掲載してくれましたので、その切り抜きを持って訪れる人もいました。

入場者数は、全日程を通じて500人程度となりましたが、特に流通関係者、蚕糸関係者、蚕糸研究者のOBの方々が懐かしがって来場されたのが目立ちました。

トピックス

この展示会でのトピックスを紹介させていただきます。

- 1 埼玉県のパライダル業者の新人研修（女性20名）に本展示会が活用され、出品製品の見学、蚕の展示、西陣の実演、座繰体験を行った。研修目的で上洛され



写真5 賑やかな展示会場（2）

ていた研修担当者が、たまたま本展示会にめぐり逢い新人を連れてきたとのことでした。女性たちは座繰りの模様をお互いに写真を撮り合い、盛り上がっていました。



写真6 座繰りに興味を持つ見学者の方々

2 呉服専門店(大阪府)の若い店主(40歳代)は、「2軒ある店舗で、ここに展示してある座繰器、養蚕用具等を何とか活用できないかと熱心に見学していきま



写真7 養蚕用具及び繰糸用具

3 きもの愛好家の女性達(7人)は、「座繰り、蚕、生糸検査装置がそれぞれ面白い。これを自分のブログでツイッターすれば1週間は保つ。」と喜んでいました。



写真8 蚕の説明パネルと5齢の蚕の実物展示

4 やはり、興味を引いた出品物は、真綿布団(近江真綿振興会)で手引きのパネルの写真や実際に手引きを体験して興味を持って帰られました。また、天蚕糸と生糸のハイブリッドのショール等はその輝きと価格の高さに驚いておられました。



写真9 真綿掛け布団(手引き真綿)は、1~2年待ちの人気商品(近江真綿振興会)

5 本年の出品物は、過去5年間でも質量ともそれなりのものが揃ったと思われます。来場者に流通業者、製糸関係者、蚕糸研究者のOBの方々が多数来られそれぞれ、展示物に見入っていました。展示品の説明は不要ですという方もおられましたが、皆丁寧にお礼を言って帰られたのが印象的でした。

出展各社の展示等絹製品とその特徴

出展者名	展示絹製品	絹製品の特徴
綾の手紬染織工房 ((株)あきやま)	着尺(かいりょうあけぼの・小石丸/藍染グラデーション)	小石丸は、細織度で張力に優れ、光沢も抜群に良い。生繭で座繰しているので嵩高性がある。天然染色による透明感のある色彩を得ている。
奄美島絹推進協議会((株)夢 おりの郷、(株)みなみ袖))	琉球多蚕繭(袋帯、着尺)、 大島紬	奄美大島の養蚕を復活させ、取り組んだのが地元古来の蚕品種「琉球多蚕繭」である。
荒川(株)	帯締	ぐんま 200 で伝統工芸士の技術で作った帯締。染色性良し、コシと嵩高性がある。
(株)伊と幸	色無地(紋ナ織、又昔、松岡姫)	特徴ある蚕品種(松岡姫、上州絹星)の繭から繰糸(器械、座繰り)した生糸を用いた製品。細織度、光沢、しなやかで着心地が良い。
(株)岩田	糸錦綴帯	蚕品種「あけぼの」の繭(愛媛県産)から多糸生繰りした生糸で西陣で培われた工芸技術を生かした絹製品。光沢があり、軽い。
近江真綿振興会 (北川茂次郎)	近江真綿布団、膝掛け	愛媛県産の繭を使用し、布団の中綿は近江手引き真綿にし、布団の側地は松澤製糸所で繰糸した生糸を加賀グンゼ(株)で羽二重に製織した。オリジナル品。
(株)小倉商店	本場結城紬(着尺、八寸帯)	蚕品種「朝日×東海」の繭から真綿を作り、手繰糸を用いて地機で緋にした品格のある製品。
(有)織匠小平	袋帯	福島県の繭を用い、丁寧に繰糸した生糸を用い、改良した織機を使用して紋つづれ帯を製作。染色性良し。かさ高有り。
織匠万勝	袋帯、先染着尺	群馬の繭から繰糸した生糸を用い、西陣織が持つ高度な技術の融合による、おしゃれ帯ときもの。光沢有り、軽くしなやか。
(株)甲斐絹座	ストール ネクタイ	山梨の繭で玉虫甲斐絹を用いたストールとシャンプレー効果の高いネクタイ。ニューヨーク近代美術館のミュージアム販売ショップ商品に採用された。
(株)加藤萬	帯揚 半衿	発色性に優れた「ぐんま 200」を用い、加藤萬の工芸技術を駆使した帯揚、半衿。
(株)銀座もとじ	小紋 九寸帯	蚕品種「ブラチナボーイ」の繭・生糸を用いたおしゃれを追及したきものと帯。
(株)J S	甲斐絹薄絹掛け布団	21 中の単糸を強撚糸した糸で薄絹を織り上げ、軽く嵩高な掛け布団。山梨県産の繭を使用。ほこりが立たない。
大門屋	玉小石牛首紬(訪問着、帯、 白生地)	この牛首紬は、玉繭を作る蚕品種「玉小石」でできた緯糸を 100%用いる。年間で着尺 6 反、帯 12 本の貴重な織物。
(株)高島屋	振袖 (誰が袖好み)	栃木の優良繭を丁寧に繰糸した生糸を用い、光沢のあるシワになりにくい P B 振袖。
田中種(株)	後染着尺(小紋、黒紋付、 加賀友禅)、名古屋帯、靴下	極型模様風小紋、江戸小紋、黒紋付、加賀友禅。織と染めにこだわったおしゃれな着尺と帯。絹の特性を活かしたお休み靴下。
(株)千總	振袖、訪問着、黒留袖、白生地	徹底した飼育管理による優良繭から繰糸した生糸。これで織り上げたちりめん、老舗ならではの絵柄に京友禅の技術を駆使した製品。
長島繊維(株)	訪問着、小紋	東京多摩地区の繭。生繰り糸のため白度が高く光沢があり、染色性が良いシワになりにくい製品。
西陣織工業組合 (西陣織会館)	マフラー 繭クラフト	ふい絹、紡ぎ糸を使用した伝統の手織りのマフラー。染色性が良く、嵩高。繭によるマスコット、アクセサリー細工。
(株)西陣まいづる	西陣袋帯	群馬の繭・生糸を用い、金銀糸を取り入れた西陣織の伝統的技術を駆使した華やかな振袖用帯。光沢良し、嵩高。
日本蚕糸絹業開発協同組合	白生地、紋付地、長襦袢地、 胴裏地	群馬の多様な蚕品種(新小石丸、世紀 21、ぐんま黄金、ぐんま 200、上州絹星)の繭・生糸を用い、多彩な加工技術にこだわった製品。
(株)平田組紐	帯締(冠、綾竹中藤ヨリ房)	「ぐんま 200」の特徴を生かしたコシのある風合いと美しい染色、しなやかな締め心地の帯締。色のバリエーションにこだわる。
(株)布四季庵ヨネオリ	ストール、白鷹板締緋紐着尺、 米沢平袴地	蚕品種「鷹山」は、又昔、小石丸、中国種系の原種を交配した細織度蚕品種。繭、生糸、染織は山形県内で生産。伝統の置賜紬の技術を駆使。
福続織物(株)	博多織(男帯、名古屋帯)	ぐんま 200 が製品の表面の滑らかさと発色性を活かす。経糸には太さの異なる糸を使用することで、柄にボリュームを持たせた本袋男帯。八寸名古屋帯も。
宮井(株)	ふろしき (本藍絞り染)	岩手県の繭を使い、加工の付加価値をより高めるため、本藍を使用した絞りの風呂敷。
(株)龍工房	帯締(御岳組段染、綾竹組) 帯揚	ぐんま 200 を生繰りする。独特の段組を工夫して、光沢があり、しなやかで、伸縮性がある帯締。伝統的工芸品指定品。
りょうぜん天蚕の会 (柳沼泰衛)	ショール(天蚕ハイブリッド 使い)	天蚕ハイブリッド糸工法(天蚕糸 50、家蚕糸 50)により、天蚕繭のもつ浅葱(あさぎ)色の輝きやしなやかさとリーズナブルな価格製品。21 年に「福島県特産品コンクール奨励賞」を受賞。

平成 25 年度第 1 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの平成 25 年度第 1 次審査会を平成 25 年 5 月 24 日（金）に開催しました。今回、4 者（使用許諾されている者の生産数量の追加が 13 品目）から申請があり、審査委員会で審査した結果、4 者に対し、5 月 30 日（木）付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(生産数量の追加) 株式会社千總 代表者名：仲田保司 (担当者：俵武司) 京都市中京区三条通烏丸西入る御倉町 80 Tel：075-211-2531 表示者登録番号：001	(数量の追加) 訪問着（駒無地）	230 枚	繭生産 岩手県内養蚕農家 製 糸 松岡（株） 製 織 加賀グンゼ（株） 染 色 自社
	(数量の追加) 喪服（変り一越）	100 枚	繭生産 福島県・山形県内養蚕農家 製 糸 松岡（株） 製 織 河籐（株） 染 色 自社
	(数量の追加) 喪服（駒紵）	100 枚	繭生産 福島県・山形県内養蚕農家 製 糸 松岡（株） 製 織 小熊機業（有） 染 色 自社
	(数量の追加) 振袖（駒無地）	130 枚	繭生産 岩手県内養蚕農家 製 糸 松岡（株） 製 織 (株) 竹林 染 色 自社
	(数量の追加) 振袖（五枚縹子）	110 枚	繭生産 岩手県内養蚕農家 製 糸 松岡（株） 製 織 (株) 竹林 染 色 自社
	(数量の追加) 振袖（五枚縹子）	110 枚	繭生産 岩手県内養蚕農家 製 糸 松岡（株） 製 織 (株) 松浦絹織 染 色 自社
(生産数量の追加) 日本蚕糸絹業開発協同組合 代表者名：小林幸夫 (担当者：土井芳文) 群馬県高崎市問屋町三丁目 5 番地の 3 Tel：027-361-2377 表示者登録番号：021	(数量の追加) 長襦袢地	160 反	制作企画 絹小沢（株） 繭生産 群馬県内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農業協同組合 製 織 (株) 藤憲 精練加工 (有) 今井整理

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)	
(生産数量の追加) 株式会社伊と幸 代表者名：伊藤公一 (担当者：北川幸) 京都市中京区御池通室町東入竜池町 448-2 Tel：075-211-2361 表示者登録番号：035	(数量の追加) 白生地（表地）	100 反	蚕品種 繭生産 製 糸 製 織	松岡姫 J Aみちのく安達 管内養蚕農家 松岡（株） 河芳織物（有）
	(数量の追加) 白生地（表地）	100 反	蚕品種 繭生産 製 糸 製 織	松岡姫 J Aみちのく安達 管内養蚕農家 松岡（株） 羽賀織物
	(数量の追加) 白生地（表地）	100 反	蚕品種 繭生産 製 糸 製 織	松岡姫 J Aみちのく安達 管内養蚕農家 松岡（株） 白数織物（有）
	(数量の追加) 白生地（帯地）	500 本	蚕品種 繭生産 製 糸 製 織	松岡姫 J Aみちのく安達 管内養蚕農家 松岡（株） 奥田重之織物
(生産数量の追加) (株) コノエ そめの近江 代表者名：鹿取源一郎 (担当者：鹿取源一郎) 東京都豊島区駒込 2-2-1 Tel：03-3949-7211 表示者登録番号：169	(数量の追加) 後染反物（小紋）	40 反	制作企画 繭生産 製 糸 製 織 染 色	田中種（株） J Aにっただみどり 管内養蚕農家 碓氷製糸農業協同組合 南うちりめん（株） 高田勝（株）
	(数量の追加) 後染反物（小紋）	40 反	制作企画 繭生産 製 糸 製 織 染 色	田中種（株） J Aにっただみどり 管内養蚕農家 碓氷製糸農業協同組合 芝井（株） 高田勝（株）

(連絡先)

〒 100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 5 階
財団法人大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
担当：武居、宮下

TEL: 03-3214-1691、FAX: 03-3214-1700

E-mail : 武居 : jsa-takei@chic.ocn.ne.jp

宮下 : jsa-miyashita@rhythm.ocn.ne.jp

年月日	活 動 内 容 等
25.5.15	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会との打合せ (東京都日本橋 (株)マルシバ内)
25.5.16	全国蚕糸行政連絡協議会との情報連絡会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
25.5.22	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会WG (東京都有楽町 蚕糸会館)
25.5.24	純国産絹マーク審査委員会 (書面審査)
25.5.30	シルクシンポジウム 2013 開催 (日本シルク学会との大日本蚕糸会との共催) (東京都有楽町 蚕糸会館)
25.6.1 ~ 25.6.5	純国産絹製品展 (京都産業会館)
25.6.11	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会WG (東京都有楽町 蚕糸会館)



ジャパンシルクセンターの純国産絹製品 PR コーナー
(今回は、東京シルクの会の小紋着尺地を展示)

シルクシンポジウム 2013（絹の未来への新しい風）を開催して

日本シルク学会第 60 回記念大会 実行委員会

副委員長 瓜田 章二

はじめに

蚕糸関係業界には三つの学会があります。昭和 5 年に発足し、80 年以上の歴史をもつ「日本蚕糸学会」、昭和 61 年に野蚕研究会からスタートした「日本野蚕学会」と私どもの「日本シルク学会」です。

この日本シルク学会の歴史も古く、第二次大戦後の農水省蚕糸局、技術改良課の中の製糸技術班に事務局を置いた「製糸絹繊維研究連絡会」に端を発しています。当時の昭和 26 年 5 月には、農林省及び日本製糸協会との三者共催の第 1 回研究発表会を横浜生糸検査所で開催した経緯があります。その後、名称を「製糸絹研究連絡会」（昭和 36 年）、「製糸絹研究会」（昭和 39 年）、次いで平成 13 年には「日本シルク学会」と変えて現在に至っております。そして、本年、第 60 回目の研究発表会を迎えるに当たり、その記念の節目に記念大会を開催し記念事業の一環としてシルクシンポジウム 2013 を行うこととしました。

2 部構成でシンポジウム開催

平成 25 年 5 月 30 日（13:00 ～ 17:15）、

蚕糸会館において、“シルクシンポジウム 2013”を（財）大日本蚕糸会との共催により、90 有余名の参加者の下に盛会に開催することができました。

このシンポジウムは“絹の未来への新たな風”を基調テーマとして、その趣旨を「絹文化の永続的な継承と発展のためには、シルク産業へ新たな風を吹き込むことが大切で、そのためには、新たな人材の育成、差別化できる高品質シルクの創出、桑やシルクの新しい利用技術の開拓が重要であり、本シンポジウムでは、国内のみならず隣国韓国の事例も含めたそれらの新しい取り組みの現状を紹介していただき、それらの取り組みとシルク産業へ関わりを考え、国産シルクの未来への新しい息吹を議論する」として、2 部構成として第 1 部では 5 課題の講演を、さらには第 2 部のパネルディスカッションでは、“新しい風の産業化への道筋”と題してコーディネーターと講演者とのディスカッションを企画・展開しました。

以下にその概要を報告致します。

第1部 5 課題の講演

1) 福島におけるシルク産業への復興支援とその展開

福島県ハイテクプラザ
福島技術支援センター
所長 三浦 文明氏



数少ない地方の公設試験研究機関でシルクの実用化研究と産業への技術貢献を目指して特に東日本大震災からの福島県内繊維産業の復旧と復興を図るべく産学官共同研究や技術支援をはじめとした取り組みを行っている。具体的に、福島県下での高度経済成長期以降の繊維産業の動向推移を紹介し、その中で、価値観の多様化やファッション化に対応し、シルクの魅力をさらに引き出す新機能シルク（中空シルク）のファッション衣料製品化、パーフェクトシルクによる寝装寝具の開発によるシルクブランド化や各企業の得意分野のコラボレーションによるシルク産業への支援展開を、東日本大震災からの復興に絡めて強力に推進している取り組み状況の紹介をいただきました。

2) 国産繭の特徴を活かす糸づくり

(株)宮坂製糸所 専務取締役
高橋 耕一氏



国産繭の特長を活かすべく宮坂製糸所で取り組んでいる事例が紹介された。様々な繭と繰糸法を組み合わせた少量多品種の製造を行っており、外国産との差別化を図っている。その具体例として、(1) 太繊度低張力糸‘ふい絹’を利用した製品開発、(2) 提携グループによる信州ブランドの構築、(3) 超極細生糸の開発と製品化、(4) 個人作家向け等小ロット生産、(5) シルクの利活用の多様化（健康志向食品、石鹼等）の紹介があった。さらに、今後の課題として、(1) 製品作りのシミュレーション、(2) 量と質が安定した繭の生産、(3) 技術の継承と機械類の維持管理等をとりあげ、これらの課題を確実に解決することによりシルク産業の展望が開けると語られました。

3) 養蚕関連の技術を導入した新たな地域
活性化事業と高齢者労働力の活用
公益社団法人浦添市シルバー人材センター



理事長 積 洋一 氏

沖縄県浦添市では、平成 18 年度から養蚕関連技術を導入した新たな地域活性化事業に取り組んでおり、その具体的内容について、(1) 事業経緯、(2) 養蚕、(3) 製糸、(4) 桑葉加工食品等の開発、(5) 蚕や繭を活用した学校教育、の紹介と説明がありました。浦添市も地方分権が進む中で、地域の特性を活かした個性豊かな町づくりが求められ、この対応として養蚕関連技術を導入する新しい地域活性化に取り組んでいるこの事業は、着実に実を結ぶようになってきたとのこと。今後も、伝統的養蚕技術を継承するとともに高齢者労働力の活用にも貢献する地域活性化事業として、さらなる展開を期して取り組みたいと結ばれました。

4) 韓国における桑の実の生産とその利用
韓国 国立農業科学院 農業生物部



日本語で講演された成 圭乗さん

蚕桑資源研究室長 成 圭乗 氏

先ず、韓国での桑の実の産業的利用に至った経緯の説明がありました。それは、韓国の養蚕業が 70 ～ 80 年代は重要な外貨獲得に大きく貢献したが、90 年代に入り急速な経済成長による賃金上昇と労働力不足、近隣国からの低価格原料の輸入などにより急速に衰退した結果、養蚕業復活のためにも、カイコ粉末の血糖値降下剤としての利用等の機能性養蚕業へと変化したこと、副産物として多様な機能性成分が含まれていることもあって、桑の実の生産技術が農家に普及するまでに至り、ここ数年間で桑園栽培面積、生産量、生産額及び生産農家数が飛躍的に増加しました。そして、韓国における桑の実の生産状況、桑の実の生産と機能性に関する研究、桑の実の加工



展示された桑の実加工製品

製品種類、加えて桑の実生産の問題点について詳細な説明と紹介がありました。これらは、日本蚕糸業にとって極めて示唆的な事例報告講演と言えるものでした。なお、桑の実加工製品（ワイン、ジュースなど）の現物を会場内に展示され、多くの出席者から注目を集めていました。

5) シルク構造解析を基にしたシルク人工血管の開発

東京農工大学 大学院工学研究院

准教授 中澤靖元 氏

固体 NMR の最新手法を駆使したシルク



の構造解析とそこから得られた知見を基にした人工血管等の新しい利活用研究の現状と今後の展望が紹介されました。現在、市販されている人工血管は、ポリエステル、ポリフッ化エチレンを原料として広く用いられていますが、その人工血管の経口が小口径（4mm 以下）の人工血管では使用方法が限定されているため、耐圧性、耐久性に優れ、生体に馴染み、生体に適合する材料を開発することが、医療分野において急務となっているとの説明があり、これに対処するため、人工血管素材としてシルクフィブロインを用いた、直径 6mm 未満の小口径人工血管の開発を行っているとのことでした。併せて（1）シルクフィブロインの精密構造解析、（2）シルクフィブロイン製小口径人工血管の開発、についての研究成果が紹介されました。シルクが創り出す緻密な繊維構造を解明し、シルク構造—物性相関、物性制御、機能性制御等を蓄積することで、新たな医療材料の展開を図っていくと締めくくられました。

第2部 パネルディスカッション

“新しい風の産業化への道筋”

以上の講演の後に、コーディネーター（蚕糸科学研究所 瓜田章二）の下に講演者5名のパネラーを一堂に会して“新しい風の産業化への道筋”と題してのパネルディスカッションが行われました。しかし、この課題をまとめ上げることは非常に難しい課題です。このため、時間の関係からも冒頭から、蚕糸業が産業として成立して行きた

めには、蚕糸研究の成果をどのように実用化・産業化できるのか、それを具体的に進めるに当たってのコーディネーターの考えを述べることにしました。

それは、「具体的にどうすべきか申しますと、価値観の多様化が進む中で絹の魅力をどうしたらアピールできるか、絹に親しんで貰うにはどうしたら良いか、国産絹と外国産絹の違いはどこにあるのか、付加価値をどこでどのように付けるのか、これは蚕の品種から始まり、それに適用する技術処理、そして製品化への体系的技術の確立であり、さらには、1次生産者側にどう還元されるのかです。これは単に材料や素材があれば良いと言うことにはなりません。この結果が所謂ブランド化の確立だと考えています。その絹製品を身に着けたいか、否かがその評価となるでしょう。絹の非繊維としての利用についても一貫した技術体系の確立と製造のシステム化があつてのことと考えています」と提案しました。

このような視点の中で、実用化・産業化に向けてどのような展望を持っておられるのか、それぞれのパネラーに伺い、貴重なご意見を拝聴し、さらに、会場の参加者からのご意見もいただくことができました。

そして、最後の締めくくりとして、「開発のための開発や、研究のための研究でなく、実用化と産業化に向けての取り組みであることがまさに重要との紹介をいただいたわけですが、要は、製品化で付加されたその付加価値が1次生産者まで還元できるかどうか、持続可能な製造体系を確立するキーポイントでしょうし、これに対応するように、また間違いなく新しい風として産業化への芽が出現しており、これを一陣の風に終わることないよう関係の皆様への絶大な支援で育ててほしい。」とまとめました。

おわりに

日本シルク学会は、日本学術会議協力学術研究団体に登録されているシルク専門の学術団体です。

その会員構成について従来と変わってきたことは、かつてはシルク研究者・学者以外に工場関係者や国・県の行政関係者が中心でしたが、近年の蚕糸絹業を巡る情勢の変化から、シルクの熱心な消費者、シルク工房の方々、文化財保存技術関係者、地域に根ざした文化グループ（NPO 団体など）及び蚕糸・絹業提携グループ関係者などの



パネルディスカッション風景

幅広い分野から構成されて、女性会員も増えてきております。

また、その活動は、今回のようなシルクシンポジウムの開催のほか、毎年、研究発表会を開催し、シルク学会誌（研究発表会の口頭発表要約及び研究論文を掲載）を発行し、日本シルク学会賞の選定・授与などを行っております。その対象は、日本のシルクの将来を見つめ、衣料としてのシルク及び非衣料分野でのシルクを含む幅広い領域をカバーして活動しています。平成25年3月末、現在の会員数は、名誉会員3名、正会員264名、企業賛助会員12社です。

このような日本シルク学会の活動に賛同され、興味をもたれた方は、是非ともこの

機会に入会していただければ幸いです。

問合せ先：日本シルク学会事務局

（庶務担当常任委員 栗岡 聡）

〒169-0073 東京都新宿区百人町3-25-1

（財）大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所内

TEL 03-3368-4891 fax 03-3362-6210

E-mail：silk@silk.or.jp

会費（年額）：正会員 2,000 円

賛助会員 5,000 円

日本シルク学会は、皆さまのご入会をお待ちしております。



タイムリーなテーマに大勢の参加者が集まりました

札幌三越「純国産宝絹（takaraginu）展」の開催

蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会

札幌での「展示会」開催

純国産絹の一般消費者への認知度向上と販売促進のため、今年1月14～15日に銀座三越で「純国産宝絹（takaraginu）展」を開催いたしました。好評のうちに多くの一般顧客、関係者の方にご来場いただき成果が上がりました。

今回は銀座三越での貴重な経験とPR素材を生かし、開拓の歴史で養蚕と深い関わりのある北海道札幌市で開催いたします。会場は「札幌三越」で行いますが地の利もよく多くの集客が見込まれます。

今回、特別企画の予定として、先ほど述べました北海道の開拓期における農業政策の中で重要な役割を担っていた北海道の養蚕を取り上げ、現地の蚕繭と銀座三越で展開された特殊繭と蚕を同時展示し純国産「宝絹」のPRを行いたいと思います、北海道の消費者の皆様には純国産絹を認知していただける良い機会となると確信しております。

1 展示会の開催日程等

名称 純国産宝絹（takaraginu）展
会期 平成25年8月20日（火）～
25日（日）
会場 札幌三越 10階 催事会場



札幌三越

宣伝媒体

- ・ B2ポスター 200部
- ・ B5見開きリーフレット 5000部
展示会開催案内にカタログを封入
- ・ DMはがき 10,000部

主催 蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会

後援 財団法人 大日本蚕糸会
農林水産省・経済産業省（予定）

2 展示内容

（1）PR映像の展示

純国産「宝絹」ができるまで、蚕から製品まで純国産絹の一貫生産を映像でわかりやすく紹介します。今回は新たな試みとして映像にナレーションを入れます。スクリーンは、純国産絹で織りあげた生地を使用

し上映時間以外でカラーライトにより生地
の地紋を浮かび上がらせ、又、来場者には
生地に触れていただき、純国産絹の光沢と
風合いの素晴らしさを体験していただく予
定です。

(2) 展示品の紹介

・貴重な蚕と多様な繭の展示

蚕は小石丸他普段見ることのできない貴重種、繭は多様な繭を「世界に誇る日本の繭」テーマに紹介します。展示繭は色繭（青熟他）、玉繭（玉小石）ジャンボ繭（又昔200頭）、細織度新品種（白繭細一号）、日本の原種（小石丸）、遺伝子組み換え繭（光る繭）を予定しています。

同コーナーで北海道の養蚕の歴史の紹介と北海道で飼育された蚕の紹介をします。

・提携グループ製品の展示紹介

純国産PRの製品として、各提携グループから純国産絹製品の展示をお願いします。その一部として、世界遺産に推薦されている富岡製糸場の「富岡シルクブランド協議会」やニューヨーク近代美術館のミュージアム販売商品として採用された「甲斐絹グループ」など多くの製品を検討しております。

(3) ワークショップの展開

銀座三越で好評であった実演型と参加型のワークショップを展開します。

・実演型ワークショップ

「純国産宝絹を支える手仕事の世界」と



紬糸作り実演

「結城紬地機織」

題して 真綿つむぎ、座繰り、染織、地機、染織組みひもを技量のある職人により実演を行い手仕事の良さと日本文化の素晴らしさを紹介します。

・参加型ワークショップ

「繭・絹を使った手づくり体験」と題してシルク組紐ブレスレット制作、シルクハンカチ紅花染め、繭クラフト、一粒繰りを実施し子供から大人まで幅広く繭や絹に触れる機会をつくり、絹の良さ楽しさをPRしていきたいと思います。

積極的な広報活動

宣伝媒体は上記の通りですが、B2ポスターは銀座で開催した時に一般消費者は勿論関係者の方への告知に効果がありました。

今回、ハガキDMを使用しますが、百貨店の顧客集客と会場での催事案内用に制作します。

B5変形見開きリーフレットとは今まで



現在使用中のパンフレット

使用していたパンフレットを本年用に常備使用できる内容に差し替え、催事案内ごとに制作するB5見開きリーフレットの中に入れ体裁の良さと経費節減を考慮したものです。今後効率の良い媒体を制作に努力したいと思います。

おわりに

北海道札幌市での開催ですが、「北海道開拓の村」の学芸員の細川さんから北海道の養蚕の歴史の資料を送っていただきました。その中に明治31年に福島県伊達郡大田村（現：伊達市保原町）から旭川へ入植した人々がおりました。今回、真綿つむぎの実演が予定されていますが、保原町で作られた真綿を使用したいと思っております。

北海道の地で、明治と今がつながり、養蚕の歴史を考えさせられます。純国産絹のPR活動の重要な位置づけとして、札幌三越での成功に努めていきます。

シルク遺産を訪ねて⑩

町田市立博物館

東京産業考古学会

副会長 平井 東 幸

町田市立博物館は、同市のほぼ中心に立地、ＪＲ・小田急町田駅からバスで１５分、「市立博物館」で下車して徒歩７分、坂を登った丘陵地にある。２階建てで昭和４８年、町田市立郷土資料館としてオープン、昭和５１年に博物館に改称した。創立４０年の同館は当初は埋蔵文化財と民俗文化財中心であったが、その後美術工芸品の収集展示にも業務を拡大してきている。同館では常設展示はなく企画展示主体で運営されているが、これは展示スペースは１階だけで比較的狭いためであるようだ。

したがって、シルクを含めた繊維に関しても常設展示はなく、収蔵施設に保管されている。これを見学希望の場合は事前に申し込む必要がある。

同館で特筆すべきは、まず第一に、資料目録が充実していること。今年３月に刊行された『町田市立博物館所蔵 民俗資料目録』（非売品）は２３６ページの大部のもので、３，８００件強の各種資料がカラー写真入りで、しかも器具の仕組み、今では不詳となった当時の使い方等の詳細な解説が付されているのが素晴らしい。その中でシルク



写真１ 町田市立博物館の正面

関係としては、例えば、繭搦い、牛首、各種座繰機、各種揚杵機、糸車、それらの部品、それに高機等と多種多様な機械用具がおよそ 100 点ある（一部、綿用を含む）。

このほかシルク関連としては、機織大神・養蚕大神の掛け軸があり、往時のこの地域の主要な産業であったことを偲ばせる。

もう一つ、注目したいのが、養蚕・機織りに関する絵画資料のコレクション。その代表が、約 10 年前に同館が新たに収蔵した「養蚕機織図屏風」。六曲一双のこの作品は江戸時代初期のもの。養蚕と機織りの作業工程が、下蚕から織りまで精密に描かれている。上記の養蚕守護の掛け軸とともに、シルク遺産として貴重である。

これらのシルク関連資料は民俗資料としての観点から収集されたものであり、必ずしも養蚕・製糸・織布と系統的に収集されたものではないように見受けられるが、逆に言えば、養蚕火鉢、掃立箒、桑切包丁等養蚕に関するまことに広範な用具が収集されている。町田市域も江戸末期から昭和初期まで養蚕と機織りが盛んに行われただけに、これだけの収集が可能であったの



写真2 座繰(歯車式の糸繰機、明治33年の墨書あり)



写真3 踏取機(糸繰の機械)

であろう。

なお、シルク関係の資料は文化財には未指定であるが、せめても市の文化財に指定いただき、その保存に一層努めていただきたいと思います。

終わりに、資料提供等ご高配をいただいた矢島律子学芸員に感謝します。

(写真は、いずれも同博物館の提供による)

■町田市立博物館

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、年末年始

その他（展覧会の展示替え期間中など）

開館時間：午前9時～午後4時30分

所在地：東京都町田市本町田 3562

Tel：042-726-1531

アクセス：JR 横浜線 小田急線「町田駅」

下車 小田急線町田駅西口のバスセンター①番乗り場から藤の台団地行き

バスで「市立博物館」下車徒歩7分

入館料：高校生以上 100 円、障害者 50 円

中学生以下無料

（企画によって異なります）

イベント情報

(財)大日本蚕糸会・ジャパンシルクセンターからのお知らせ

イベント名	企画・展示内容	開催日(期間)	場所・主催者等
アトリエ T.S工房 桜岡民枝ニット作品展	シルクの染色性の魅力を活かして、染めたシルクの糸をウールの糸と合糸し、手編みにした作品。軽く、暖かいのが特徴。絵を描くように仕上げ、それぞれがとても個性的です。ベスト セーター カーディガン コートなどを展示・即売します。	・会期 平成25年9月9日(月)～13日(金) 開催時間 10:00～18:00 最終日は16:00まで	・主催:ジャパンシルクセンター ・会場 ジャパンシルクセンター 東京 有楽町 蚕糸会館 1F TEL 03-3215-1212
第11回 絵染め 絹とバラ100彩展	絵染め独特の混色方法、色の組み合わせ、ぼかしなどを施した作品作りです。 ストール 日傘 バッグなどを展示・即売します。	・会期 平成25年10月21日(月)～25日(金) 開催時間 10:00～18:00 最終日は16:00まで	・主催:ジャパンシルクセンター 共催:日本絵染協会 協賛:絵染めインターナショナル ・会場 ジャパンシルクセンター 東京 有楽町 蚕糸会館 1F

財 団 法 人 大 日 本 蚕 糸 会

ジ ャ パ ン シ ル ク セ ン タ ー

100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館
ジャパンシルクセンター直通
ホームページ: <http://www.silk-center.or.jp/>

TEL: 03-3214-1691 FAX: 03-3214-1700
TEL&FAX: 03-3215-1212
E-mail: jsasilk@sepia.ocn.ne.jp



イベント名	企画・展示内容	開催日(期間)	場所・主催者等
夏休みの特別展 —「親と子のかいこの 自然科学教室」—	夏休みの小学生の親子を対象に、かいこや天蚕などの生態観察、繭からの糸繰り、はた織、まゆ人形作り、真綿作りなどの楽しい体験学習により、絹の生成過程や活用法、絹繊維の持つ特性などについての知識を深めていただきます。 本展は「かいこ」をとおして、自然の営みの素晴らしさを知り、自然を愛し、共存することの大切さを学ぶ機会をつくり、更に総合的な学習の一助となることを目的として開催します。 ◎体験学習内容 ○糸繰り体験 水・木・金曜日 ○まゆ人形作り 実費200円、 水・木・金曜日 ○はた織り ひら織り ○小さな真綿作り 小・中学生対象 日曜日・火曜日 ○くみひも体験 土曜日	・会期 平成25年7月23日 (火)～8月25日(日) 休館日:月曜日 入館料 一般500円 65才以上300円 高・大学生200円 小・中学生100円 *団体割引有り *予約は必要ありませんが、時間を確認の上、余裕をもってご来館ください。	・主催:シルク博物館 ・会場 シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 シルクセンター2階 TEL045-641-0841
日本絹の里第26回 企画展 「技と粋～伊勢型紙 と江戸小紋」展	江戸小紋や型友禅などの染色で用いられる型紙には、様々なデザインがあります。江戸時代中期以降、三重県鈴鹿市の白子・寺家地方で生産・供給された「伊勢型紙」は、江戸時代後期には最盛期を迎え、その技術は職人たちに受け継がれ、江戸時代後期には最盛期を迎え、現在に至っています。 これらの型紙と深く関係しているのが、「江戸小紋」です。群馬県高崎市で製作活動をしている藍田正雄氏は、伊勢型紙を使用した江戸小紋の染色を主に行っています。難易度の高い縞柄の名手とされ、作家としてその確かな技が高い評価を得ており、活躍の場は海外へも広がっています。更に、群馬県指定重要無形文化財保持者である同氏は技を受け継ぐ後進の育成にも力を入れています。本展では、型紙のデザインやその彫刻方法、また藍田氏の作品と所蔵品である着物や袴を中心に、伊勢型紙と江戸小紋の関係とその魅力をご紹介します。	・会期 平成25年6月8日 (土)～7月15日(月) 休館日:火曜日 入館料 一般400円 高・大学生250円 中学生以下無料 *団体割引有り	・主催:群馬県立日本絹の里 ・会場 日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1 TEL027-360-6300

現在、活動している提携グループの内容一覧

1. グループ167

(代表者)

有限会社織道楽塩野屋

代表取締役 服部芳和

京都府京都市上京区千本通一条通下ル西側

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：京都府（福知山市他）(250kg)、農家数4戸

製糸：(株)宮坂製糸所

製織：(有)織道楽塩野屋

撚糸：(有)織道楽塩野屋

その他：(株)両双（食品等）、(有)ウェイズ（通販）

(蚕品種)

緑繭1号（都浅黄）、黄白

(絹製品等)

健康商品（下着、タオル、ニット）、美容製品（桑茶、桑パウダー、絹化粧水）等

2. 白繭細1号プロジェクト開発チーム

(代表者)

株式会社マルシバ

社長 木下幸太郎

東京都中央区人形町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：長野県JA上伊那、JAみなみ信州、(2,600kg)、農家数11戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：芋田機業（丹後）、五十嵐商事（五泉）

染色・他：(株)龍工房（組紐）、(株)矢代仁（お召）

その他：(株)マルシバ、(株)三越 他

(蚕品種)

白繭細1号

(絹製品等)

京友禅の訪問着、組紐、お召、白生地、後染反物等

3. 絹を未来にプラチナボーイ研究会

(代表者)

株式会社マルシバ

社長 木下幸太郎

東京都中央区人形町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：茨城県（みどり農協）、千葉県、(2,700kg)、農家数 8 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：芋田機業、江口機業、田勇機業

その他：(株)銀座もとじ、(株)マルシバ

(蚕品種)

プラチナボーイ

(絹製品等)

先染め織物として大島紬、結城紬、先染反物、後染反物

4. 日本蚕糸絹業開発協同組合 国産シルク研究会

(代表者)

日本蚕糸絹業開発協同組合

代表理事 小林幸夫

高崎市問屋町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県（安中、前橋、渋川、榛東等）(39,680kg)、

農家数 120 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：南久ちりめん(株)、(株)ワタマサ、(株)カブト等

撚糸：(有)江島屋

染色・他：(有)江島屋

その他：絹小沢

(蚕品種)

新小石丸、世紀二一、ぐんま 200 等

(絹製品等)

白生地、胴裏、長襦袢、八掛地、紋付地

5. 富岡シルクブランド協議会

(代表者)

富岡シルクブランド協議会

会長 富岡市長（富岡市教育委員会世界遺産推進課）

富岡市富岡

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県（JA甘楽富岡）（6,080kg）、農家数 21 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

その他：富岡シルクブランド協議会

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

タオル、繭パフ、スカーフ、ハンカチ、民芸品、ネクタイ、禪等

6. 日本の繭ときもの文化を考える会

(代表者)

田中種株式会社

社長 田中隆

大阪市中央区南本町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県（安中）（360kg）、農家数 2 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：南久ちりめん(株)

撚糸：高田勝(株)

染色・他：高田勝(株)

その他：田中種(株)

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

極型小紋、後染反物（小紋）、紋意匠

7. 日本蚕糸絹業開発協同組合 国産シルク研究会 普通蚕種部会

(代表者)

日本蚕糸絹業開発協同組合

代表理事 小林幸夫

群馬県高崎市問屋町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県（前橋市、高崎市）（13,000kg）、農家数 52 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：(株)カブト、坪金工業(株)、坪金絹織物、番国(株)、長島織物

撚糸：(有)江島屋

染色・他：（有）江島屋
その他：絹小沢（株）、（有）長島織物、渡辺絹織物
（蚕品種）
普通蚕種
（絹製品等）
白生地、胴裏、長襦袢地、八掛、紋付地

8. 西陣純国産絹振興会

（代表者）
西陣織工業組合
理事長 渡邊隆夫
京都市上京区堀川通今出川南入
（提携グループの主たる構成者）
繭生産：群馬県（安中）（1,650kg）、福島県（川俣）、（495kg）計 2,145kg、
農家数 4 戸
製糸：碓氷製糸農業協同組合
製織：西陣織工業組合
撚糸：東北撚糸（株）
染色・他：加賀ゲンゼ（株）
その他：西陣織工業組合、（有）関根商店
（蚕品種）
普通蚕種
（絹製品等）
シルクリボン、マフラー

9. 平田グループ研究会

（代表者）
株式会社平田組紐
代表取締役 平田晃
東京都豊島区長崎
（提携グループの主たる構成者）
繭生産：群馬県（藤岡、みどり）（6,200kg）、農家数 46 戸
製糸：碓氷製糸農業協同組合
製織：（株）平田組紐
撚糸：田宮繊維（株）
染色・他：小林練染工場（精練）、山金商店（染）

その他：（有）いのうえ
（蚕品種）
ぐんま２００
（絹製品等）
帯締、羽織紐

１０．新潟県産繭・絹振興会

（代表者）
合資会社山岸織物
代表社員 山岸良三
新潟県小千谷市土川
（提携グループの主たる構成者）
繭生産：新潟県（1,650kg）、農家数 14 戸
製糸：赤城シルク
製織：（合）山岸織物
撚糸：（合）山岸織物
染色・他：（株）しょうざん（生紬）
その他：朝日村まゆの花の会
（蚕品種）
普通蚕種
（絹製品等）
生紬（なまつむぎ）、繭クラフト

１１．綾の小石丸の会

（代表者）
株式会社あきやま
代表取締役 秋山典子
宮崎県東諸県郡綾町大字北俣
（提携グループの主たる構成者）
繭生産：宮崎県小石丸（180kg）、特定交雑種（80kg）計 260kg 、
農家数 4 戸
製糸：（株）宮坂製糸所、（株）あきやま
製織：（株）あきやま
撚糸：塩野屋、森田撚糸、（株）あきやま
染色・他：（株）あきやま
その他：（株）あきやま

(蚕品種)

小石丸他

(絹製品等)

手織り着物、訪問着、ショール、先染反物、マフラー等

1 2. 玉小石牛首紬研究会

(代表者)

大門屋

店主 高橋弘直

福井県大野市元町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：福井県（100kg）、農家数1戸

製糸：加藤機業場

製織：加藤機業場

その他：大門屋

(蚕品種)

玉小石

(絹製品等)

玉小石を使用した牛首紬（白生地、着尺、帯地）

1 3. 東京シルクの会

(代表者)

有限会社内海呉服店

代表取締役 内海康治

東京都世田谷区祖師谷

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：東京都普通蚕種（600kg）、特殊蚕種（115kg）計 715kg 、
農家数7戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合、(株)宮坂製糸所

製織：河芳織物(有)、(有)大原織物

撚糸：山口撚糸

染色・他：(有)大原織物

その他：長島繊維(株)、内海呉服店

(蚕品種)

普通蚕種、特殊蚕種（青熟種、四川三眠種）

(絹製品等)

白生地、洋装品、ストール、先染め反物

14. ふじやまシルクプロジェクト

(代表者)

株式会社 J S

代表取締役 柏木秀樹

山梨県富士吉田市大明見

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：山梨県（西八代、ふじかわ、甲府市）(4,611kg)、農家数 12 戸

製糸：松沢製糸所

製織：(有)カシワギ、小泉織物、(株)オヤマダ

染色・他：(有)カシワギ

その他：(株)山桜、高野縫製所

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

スカーフ、ネクタイ、洋装品（シャツ、ブラウス、スカート、コート等）、
布団

15. 信州繭ブランド織物振興会

(代表者)

(有)シンセイ

代表取締役 清水武彦

長野県松本市大字中山

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：長野県（長野市）(250kg)、農家数 2 戸

製糸：(株)宮坂製糸所、松沢製糸所

製織：織処丸重

撚糸：久保田織染工業(株)

染色・他：久保田織染工業(株)

その他：(有)シンセイ

(蚕品種)

小石丸、黄緑繭

(絹製品等)

小石丸等の特長ある蚕品種を使った信州紬、伊那紬、上田紬、後染スカーフ

16. 千總純国産絹製品販売・商品開発グループ

(代表者)

株式会社千總友仙工場

代表取締役 俵武司

京都市中京区三条通烏丸西入御倉町 72

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：青森県、岩手県、山形県、宮城県、福島県（みちのく安達、
郡山市、そうま、ふたば）、群馬県（みなかみ）、(34,000kg)、
農家数 95 戸

製糸：松岡(株)

製織：加賀ゲンゼ(株)、美雲織物(株)、(株)匠、(株)竹林

撚糸：(株)千總、昭和撚糸工業(株)

染色・他：(株)千總

その他：(株)千總友仙工場、宮井(株)、(株)高島屋

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

振袖、訪問着、付下、後染反物(振袖、訪問着、色無地、喪服、黒留袖、
七五三、着物)、白生地、胴裏地、長襦袢地等

17. 碓氷製糸シルク工房の会

(代表者)

碓氷製糸農業協同組合

代表理事組合長 高村育也

群馬県安中市松井田町新堀甲

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県(JA碓氷安中、JA前橋)(18,000kg)、農家数 110 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：工房、個人作家等

撚糸：工房、個人作家等

染色・他：工房、個人作家等

その他：工房、個人作家等

(蚕品種)

春嶺×鐘月、錦秋×鐘和、新小石丸、世紀二一、ぐんま200、ぐんま
黄金

(絹製品等)

工房等の小ロット取引(47 者)の絹製品(着尺、帯、組紐、紬、
ネクタイ、小物)

18. 伊予生糸を守る会

(代表者)

西予市蚕糸業振興協議会

会長 福原純一

愛媛県西予市野村町野村

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：愛媛県(2,500kg)、農家数11戸

製糸：(株)野村町地域振興センター

製織：(株)龍村美術織物、野村シルク博物館シルク工房及び工房作家

その他：西予市蚕糸業振興協議会

(蚕品種)

あけぼの、青白

(絹製品等)

帯、白生地

19. 絹の会ぐんま200プロジェクト

(代表者)

絹の会

会長 西尾仁志

群馬県前橋市日吉

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県(前橋市)(960kg)、農家数2戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：染織工芸家等(19 者)

撚糸：染織工芸家等(19 者)

染色・他：染色工芸家(19 者)

その他：西尾呉服店等(19 者)

(蚕品種)

ぐんま200

(絹製品等)

染織工芸家の制作する絹製品(伝統織物の反物、帯、ストール、組紐、
春繭は生挽き、晩秋繭は塩蔵後生挽き)

20. りょうぜん天蚕の会

(代表者)

伊達天蚕推進研究会

会長 柳沼泰衛

福島県伊達市霊山町中川橋本

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：福島県天蚕繭(60kg)、家蚕繭(60kg)、農家数8戸

製糸：りょうぜん天蚕の会

製織：りょうぜん天蚕の会

撚糸：東北撚糸(株)

染色・他：りょうぜん天蚕の会

(蚕品種)

天蚕、普通蚕種

(絹製品等)

繭工芸品等(紬、シヨール等)

21. 絹で奏でる音世界グループ

(代表者)

株式会社鳥羽屋

代表取締役 小篠敏之

京都市上京区油小路通下立売下る西裏辻町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：岐阜県(600kg)、農家数20戸

製糸：特殊生糸製造業者(西村英雄)

撚糸：(株)鳥羽屋

染色・他：(株)鳥羽屋

その他：(財)岐阜県蚕糸協会

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

三味線絃、琴絃、雅楽器絃等

22. 邦楽器系用特殊生糸を守る会

(代表者)

丸三ハシモト株式会社

代表取締役 橋本圭祐
滋賀県長浜市木之本町木之本
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：岐阜県(600kg)、農家数 20 戸
製糸：大音特殊生糸協同組合
撚糸：丸三ハシモト(株)
染色・他：丸三ハシモト(株)
その他：岐阜県蚕糸協会
(蚕品種)
普通蚕種
(絹製品等)
琴糸、三味線糸、胡弓糸、琵琶糸

23. ふくしまみらいシルクの会

(代表者)
西川産業株式会社
代表取締役 西川康行
東京都中央区日本橋富沢町
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：福島県(福島市、伊達市、川俣町)(2,000kg)、農家数 22 戸
製糸：(有)関根商店(真綿生産)
染色・他：(有)関根商店
その他：西川産業(株)
(蚕品種)
普通蚕種、朝・日×東・海
(絹製品等)
入り金真綿布団

24. 結城紬風土31研究会

(代表者)
株式会社小倉商店
代表取締役 小倉敏行
茨城県結城市大字結城
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：福島県(伊達市、晩秋蚕繭のみ)(500kg)、農家数 3 戸
製糸：(有)関根商店(真綿生産)

製織：(株)小倉商店
染色・他：(株)小倉商店
その他：(株)小倉商店
(蚕品種)
朝・日×東・海
(絹製品等)
結城紬

2 5. 川俣絹工房

(代表者)
福島寝装株式会社
代表取締役 佐藤雅巳
福島県伊達郡川俣町飯坂字下中居
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：福島県川俣町(春蚕)(300kg)、農家数5戸
製糸：松岡(株)(生糸)、石川彦太郎商店(真綿)
製織：斉栄織物(株)
染色・他：福島寝装(株)
その他：福島寝装(株)
(蚕品種)
普通蚕種
(絹製品等)
純国産真綿布団

2 6. 白鷹瑞龍の会

(代表者)
株式会社布四季庵ヨネオリ
代表取締役 佐藤和雄
山形県米沢市城南1-4-18 布四季庵ヨネオリ内
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：山形県(144kg)、農家数1戸
製糸：松岡(株)
製織：新田(株)
撚糸：新田(株)
染色・他：新田(株)
その他：(株)布四季庵ヨネオリ

(蚕品種)

ブランド繭（小石丸×又昔）「鷹山」と命名

(絹製品等)

袴、先染反物（置賜紬）、ストール

27. 信州オリジナル絹の会

(代表者)

株式会社丸万中尾

取締役 中尾浩祥

滋賀県長浜市室町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：長野県（JA上伊那）(330kg)、農家数1戸

製糸：(株)宮坂製糸所

製織：織処丸重、南久ちりめん(株)

染色・他：(株)一会、柏田屋(株)

その他：(株)丸万中尾

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

江戸小紋、帯、後染反物（変わり一越、友禅、色無地）

28. 日本のお蚕さん発展協議会

(代表者)

田中種株式会社

代表取締役 田中隆

大阪府中央区南本町2-1-18 創建本町ビル3階

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県（安中市）(270kg)、農家数3戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：芝井(株)、南久ちりめん(株)

撚糸：芝井(株)、南久ちりめん(株)

染色・他：高田勝(株)

その他：田中種(株)

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

極小紋型模様小紋、後染反物（変わり一越）

29. 純日本の絹文化協会「松岡姫」グループ

（代表者）

株式会社伊と幸

代表取締役 伊藤公一

京都市中京区御池通室町東入竜池町

（提携グループの主たる構成者）

繭生産：福島県（二本松市）（10,000kg）、農家数 21 戸

製糸：松岡（株）

製織：羽賀恒明（京都府）、白数織物（有）、河芳織物（有）

その他：（株）伊と幸

（蚕品種）

松岡姫

（絹製品等）

白生地ブランド「松岡姫」、白生地（色無地、帯地）、胴裏絹

30. 日本絹文化振興会

（代表者）

株式会社丸上

代表取締役 上達征次

東京都中央区日本橋久松町

（提携グループの主たる構成者）

繭生産：茨城県（かすみがうら市）（1,953kg）、農家数 6 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：（株）匠、芋田薫織物、

染色・他：小林染工房、（株）菱健

その他：（株）丸上、（有）幸和

（蚕品種）

普通蚕種

（絹製品等）

色無地、付下、染帯等

31. 日本の絹を守る会

（代表者）

株式会社西陣まいづる

代表取締役 舞鶴一雄
京都市上京区五辻通大宮
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：群馬県（安中市）(2,500kg)、農家数5戸
製糸：碓氷製糸農業協同組合
製織：(株)西陣まいづる
撚糸：丸八生糸(株)
染色・他：(株)西陣まいづる
その他：(株)西陣まいづる
(蚕品種)
普通蚕種（春嶺×鐘月）
(絹製品等)
袋帯

3.2. 甲斐絹グループ

(代表者)
株式会社甲斐絹座
代表取締役 前田一郎
山梨県富士吉田市下吉田
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：山梨県（JA笛吹、JA梨北、JAクレイン、JA巨摩野）
(3,886kg)、農家数15戸
製糸：松沢製糸所
製織：(株)甲斐絹座
撚糸：丸八生糸(株)
染色・他：(有)石森染色
その他：(株)甲斐絹座
(蚕品種)
普通蚕種
(絹製品等)
ネクタイ、ストール、シャツ、座布団、クッション、ランプシェード、
スカーフ、ストール

3.3. 秩父シルクの会

(代表者)

有限会社ハック

代表取締役 松本信孝

千葉県習志野市藤崎

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：埼玉県（秩父市）(300kg)、埼玉県製糸協会、農家数 4 戸

製糸：松岡(株)

製織：アラキニット(株)

撚糸：(株)山嘉精練

染色・他：池田ソーイング

その他：(有)ハック、埼玉県製糸協会

(蚕品種)

いろいろ

(絹製品等)

インナーニット

3 4. 蚕彩会

(代表者)

装いの道株式会社

代表取締役 山中英靖

東京都文京区湯島

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：埼玉県（秩父市）(500kg)、埼玉県製糸協会、農家数 4 戸

製糸：松岡(株)

製織：(有) 酒井

撚糸：(有) 酒井

染色・他：(株) 二葉

その他：装いの道(株)、装道グループで販売

(蚕品種)

いろいろ

(絹製品等)

振袖、訪問着、小紋、帯等

3 5. 越後絹の会

(代表者)

株式会社猪井

代表取締役 猪井一之

新潟県長岡市柏町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：茨城県（かすみがうら市）(360kg)、農家数 1 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：(関係者) (株) 匠、芋田織物

染色・他：(株) 猪井、(関係者) 小林染工、(株) 西原

その他：(有) 幸和、(株) 猪井

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

色無地、付下、染帯等

3 6. きわみ絹の会

(代表者)

第一衣料株式会社

代表取締役 金子守隆

東京都中央区日本橋富沢町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：茨城県（石岡市）(480kg)、農家数 2 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：(関係者) (株) 匠、芋田織物

染色・他：(株) 田中勝 (関係者) 小林染工、(株) 西原

その他：第一衣料 (株)、(有) 幸和

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

色無地、付下、染帯等

3 7. 愛媛県蚕種の会

(代表者)

愛媛県蚕種株式会社

代表取締役 兵頭眞通

愛媛県八幡浜市保内町川之石

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：愛媛県（大洲市）(300kg)、農家数 2 戸

その他：愛媛蚕種 (株)

(絹製品等)

繭生産

38. 日本蚕糸絹業開発協同組合

国産シルク研究会 熊本部会

(代表者)

日本蚕糸絹業開発協同組合

代表理事 小林幸夫

群馬県高崎市問屋町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：熊本県（山鹿市、大津町、美里町）(580kg)、農家数 6 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：(株)カブト、番國(株)

染色・他：(有)江島屋染工場、(有)今井整理

その他：絹小沢(株)、(株)鶴屋百貨店

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

胴裏絹、長襦袢等

39. 上田蚕種の会

(代表者)

上田蚕種株式会社

代表取締役 手塚本衛

長野県上田市常田

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県（前橋市、高崎市）、岐阜県（白川町）、(500kg)、

農家数 6 戸

その他：上田蚕種(株)

(絹製品等)

繭生産

40. 高原社蚕種の会

(代表者)

株式会社高原社

代表取締役 関秀一

長野県松本市元町
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：長野県（みなみ信州）、山梨県（南部町）、(400kg)、農家数 6 戸
その他：(株) 高原社
(絹製品等)
種繭生産

4 1. 富田蚕種製造所蚕種の会

(代表者)
富田蚕種製造所
所長 富田克衛
福島県伊達市伏黒字北屋敷
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：福島県（二本松市、伊達市、川俣町）、宮城県（丸森町）、(510kg)、
農家数 12 戸
その他：富田蚕種製造所
(絹製品等)
種繭生産

4 2. 関根商店シルク工房の会

(代表者)
有限会社関根商店
代表取締役社長 関根實
福島県伊達市保原町
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：福島県（川俣町、飯野町）(1,500kg)、農家数 13 戸
製糸：(真綿生産) (有) 関根商店
その他：(有) 関根商店
(蚕品種)
普通蚕種
(絹製品等)
生繭から真綿生産、真綿関係等の商品を必要とするシルク工房へ供給

4 3. HIKOTAROU☆入金真綿工房の会

(代表者)
石川彦太郎商店

石川隆
福島県伊達市保原町
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：福島県（川俣町、飯野町）（1,700kg）、農家数 13 戸
製糸：（真綿生産）石川彦太郎商店
その他：石川彦太郎商店
(蚕品種)
普通蚕種
(絹製品等)
生繭から真綿生産、真綿関係等の商品を必要とするシルク工房へ供給

4 4. 野田定吉商店シルク工房の会

(代表者)
野田定吉商店
代表 野田喜己
福島県伊達市保原町所沢字安部
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：福島県（川俣町、飯野町）（2,000kg）、農家数 13 戸
製糸：（真綿生産）野田定吉商店
その他：野田定吉商店
(蚕品種)
普通蚕種
(絹製品等)
生繭から真綿生産、真綿関係等の商品を必要とするシルク工房へ供給

4 5. 近江真綿振興会グループ協議会

(代表者)
近江真綿振興会グループ協議会
代表者 北川茂次郎
滋賀県米原市多和田
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：愛媛県（大洲市、宇和島市等）（6,250kg）、農家数 8 戸
製糸：（生糸）松沢製糸所、（真綿）北川茂次郎
製織：（株）おおまえ
撚糸：（株）おおまえ
染色・他：原田誠祐商店

その他：北川茂次郎他
(蚕品種)
普通蚕種
(絹製品等)
純国産真綿布団（純国産の側生地、中綿は角真綿を手引きした純国産真綿）

4 6. 宮坂シルク工房の会

(代表者)
株式会社宮坂製糸所
代表取締役 宮坂照彦
長野県岡谷市東銀座
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：長野県（上伊那）(1,585kg)、農家数4戸
製糸：(株)宮坂製糸所
製織：織処丸重
撚糸：(委託加工)
染色・他：(委託加工)
その他：(株)宮坂製糸所
(蚕品種)
普通蚕種、玉繭品種
(絹製品等)
座繰り生糸、多様な織度・繰糸方法等の原糸を供給

4 7. 千葉県ブランド繭推進協議会

(代表者)
株式会社宮坂製糸所
代表取締役 宮坂照彦
長野県岡谷市東銀座
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：千葉県（千葉県蚕糸業協会）(2,150kg)、農家数16戸
製糸：(株)宮坂製糸所（座繰り）、三眠蚕・生繰り（シルクカンパニー外村）
撚糸：下村ねん糸、丸三ハシモト(株)
その他：(株)宮坂製糸所、千葉県蚕糸業協会
(蚕品種)

普通蚕種、三眠蚕
(絹製品等)

① 座繰り・自動繰糸、②三眠蚕、③生繰り糸

48. 松沢製糸紬工房の会

(代表者)

松沢製糸所

代表者 松沢正

長野県諏訪郡下諏訪町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：長野県（長野、佐久、諏訪）、高知県、兵庫県、(1,485kg)、
農家数8戸

製糸：松沢製糸所

製織：久保田織染工業(株)、(有)藤本、織処 丸重、南久ちりめん(株)

撚糸：久保田織染工業(株)、(有)藤本、織処 丸重

染色・他：久保田織染工業(株)、(有)藤本、織処 丸重

その他：(有)シンセイ、(株)西脇商店、(有)山田呉服店

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

信州紬(伊那紬、上田紬)、帯、白生地

49. 純国産シルクを守る会

(代表者)

碓氷製糸農業協同組合

代表理事組合長 高村育也

群馬県安中市松井田新堀甲

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬(164)、宮城(13)、福島(15)、栃木(28)、茨城(15)、
千葉(2)、長野(20)、岐阜(20)、愛知(2)、(8,050kg)、
農家数279戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：(有)ミヤマ全織、渡豊工房

撚糸：(委託加工)

染色・他：(委託加工)

その他：碓氷製糸農業協同組合、丸八生糸(株)、(株)深田商店、(有)吉

川商事

(蚕品種)

普通蚕種、新小石丸、ぐんま２００、上州絹星、あけぼの、
改良小石丸

(絹製品等)

シルク工房や製織者等に対して生糸・撚糸等を供給

５０．アルチザン

(代表者)

株式会社マルシバ

代表取締役 木下幸太郎

東京都中央区日本橋人形町 3-5-4 MS-2 ビル 6階

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：茨城県（常陸大宮市、大子町）（750kg）、農家数 2 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：芋田織物

撚糸：芋田織物

染色・他：藤井絞(株)

その他：(株)マルシバ

(蚕品種)

蚕技研 1 1 号

(絹製品等)

白生地、訪問着・染帯、男物着尺・羽織等

５１．純国産絹糸を守る会

(代表者)

勝山織物株式会社

代表取締役 勝山嘉夫

京都府京都市北区衣笠北高橋町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：長野県（飯田市）（335kg）、農家数 1 戸

製糸：勝山織物(株)

製織：勝山織物(株)

撚糸：勝山織物(株)

染色・他：勝山織物(株)

その他：勝山織物(株)

(蚕品種)

あけぼの

(絹製品等)

自社で撚糸・製織し、きもの・帯

5 2. 純国産絹振興会 “絹なり”

(代表者)

織匠 万勝

代表 前田章

京都市中京区堀川通御池下ル東入ル鍛冶町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県(伊勢崎市、渋川市)(4,970kg)、農家数 17 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：織匠万勝

撚糸：(株)日本加工糸小松工場

染色・他：織匠万勝

その他：橋本常(株)、織匠万勝

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

袋帯、着尺

5 3. Silk So Good

(代表者)

富士新幸(株)

代表取締役 白須資望

山梨県都留市平栗

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：埼玉県(深谷市)(500kg)、農家数 3 戸

製糸：松沢製糸所

製織：富士新幸(株)

撚糸：松村(株)

染色・他：小野田染色

その他：(有)コバヤシ、山梨県織物整理(株)、丹後織物工業組合

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

真綿布団、布団カバー等

5 4. 埼玉シルクの会

(代表者)

有限会社コバヤシ

代表取締役 小林嘉朗

埼玉県狭山市祇園

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：埼玉県（埼玉中央、秩父、花園）(1,680kg)、農家数 11 戸

製糸：松岡(株)、秩父銘仙館、NPO法人きもの川越散歩

製織：秩父銘仙館、NPO法人きもの川越散歩

染色・他：秩父銘仙館、NPO法人きもの川越散歩、(有)塩野屋

その他：(有)山脇源平商店、(株)キュービック、日本刺繍紅会

(蚕品種)

普通蚕種、いろいろ

(絹製品等)

高級織物、ちちぶ銘仙、真綿、化粧石鹸、化粧品、ニット

5 5. 松沢製糸所純国産シルクの会

(代表者)

松沢製糸所

代表者 松沢正

長野県諏訪郡下諏訪町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：埼玉県（いるま野、埼玉中央、ちちぶ、埼玉ひびき、深谷、
花園）(13,960kg)、農家数 51 戸

製糸：松沢製糸所

製織：(有)梅徳機業場

撚糸：高貞(株)、大江繊維(株)

その他：(有)コバヤシ、若竹(株)

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

着尺（先染め）、着尺（後染め）、シルクニット

56. 奄美島絹振興研究会

(代表者)

奄美島絹推進協議会

会長 南祐和

鹿児島県大島郡龍郷町大勝

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：鹿児島県（奄美大島）(750kg)、農家数8戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合、奄美島絹推進協議会

製織：(株)夢おりの郷、(株)みなみ紬、(株)アーダン

撚糸：(株)夢おりの郷、(株)みなみ紬、(株)アーダン

染色・他：(株)夢おりの郷、(株)みなみ紬、(株)アーダン

その他：(株)夢おりの郷、(株)みなみ紬、(株)アーダン

(蚕品種)

普通蚕種、琉球多蚕繭

(絹製品等)

大島紬、小物、帯、化粧品等、先染反物（大島紬）、先染帯地（大島紬）

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧

平成 25 年 5 月 30 日現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物 (振袖、訪問着、付下、色無地、黒留袖、喪服)、 胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物 (色無地、小紋、付下、黒紋付)、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物 (色無地)、胴裏 (灰汁浸け加工)
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物 (色無地、黒紋付)
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物 (色無地、黒紋付)
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物 (色無地、黒紋付)
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物 (色無地、黒紋付)
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物 (作家作品)、後染帯地、先染反物 (大島紬、結城 紬、御召、作家作品)、先染帯地 (織九寸帯、織角帯、作家 作品)、白生地、和装小物 (帯締、羽織紐)、八掛、胴裏
012	河瀬満織物 (株)	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物 (色無地、黒紋付)
016	(株) 絹回廊	東京都中央区	後染反物 (色無地)
017	(有) 琴路屋	岩手県釜石市	後染反物 (色無地、黒紋付)
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地
019	丸善本店	福島県いわき市	後染反物 (色無地、黒紋付)
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物 (色無地、黒紋付)
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢 (株))	群馬県高崎市	裏地 (胴裏 (ぐんま羽二重、ぐんまレピア、灰汁浸加工、トルマリン 加工)、八掛、比翼地)、長襦袢地、後染反物 (作家作品、紋付地)、白 生地 (世紀二一)、後染帯地 ((冬物・夏物): うるし糸が 5% を超える もの)、寝衣 (うぶ着、おくるみ)、和装小物 (袱紗)
022	宮階織物 (株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21 世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物 (色無地、訪問着)、先染帯地 (袋帯 (草木染、唐織))
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物 (有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地 (袋帯、名古屋帯)、先染反物 (御召類)、後染反 物、先染帯地 (袋帯: 金銀糸が 5% を超えるもの)
027	(有) 織道楽塩野屋	京都市上京区	洋装品 (マフラー、シャツ、ニット (ウォーマー、腹巻、 手袋、靴下))

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物 (江戸小紋、友禅、色無地)、後染帯地
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物 (色無地、黒紋付)
030	(株) 高島屋	東京都中央区	後染反物 (振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖)、 白生地 (長襦袢地、胴裏)、ニット (靴下)
031	(株) さが美	横浜市港南区	後染反物 (黒紋付 (冬用・夏用)、色無地)
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門 店後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いいけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地)、後染帯地、白生地 (表地)、白生地 (胴 裏、帯地)
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 榊屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	染織家柳崇	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	染織家児玉京子	沖縄県竹富町	先染反物
044	草木染工房山村	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、ストール
045	手織りよおん	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房	沖縄県石垣市	先染反物 (紋紬、緋)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒紬))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色 無地)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物（色無地）、胴裏（パールトーン加工）
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物（色無地、黒紋付）
063	丸池藤井（株）	京都市中京区	後染反物（色無地）、八掛
064	久保商事（株）	京都市中京区	和装小物（帯揚、半衿）
065	加賀グンゼ（株）	石川県小松市	胴裏
066	千切屋（株）	京都市中京区	後染反物（訪問着、付下）、後染帯地
067	荒川（株）	京都市下京区	和装小物（帯締、帯揚）
068	第一衣料（株）	東京都中央区	後染反物（色無地）
069	(株) 紅輪	川崎市宮前区	後染反物（色無地）
070	装いの道（株）	東京都千代田区	白生地（帯地、表地）、胴裏（トルマリン加工、灰汁浸加工、 ぐんま 200、新小石丸）
071	(株) 高橋屋	岩手県一関市	胴裏（灰汁浸加工）
072	おお又（株）	大阪市旭区	胴裏（灰汁浸加工）
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏（ぐんま 200（灰汁浸加工））、白生地（表地）
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏（パールトーン加工）
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏（酵素精練）
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏（酵素精練）
077	京和きもの（株）	神奈川県厚木市	胴裏（酵素精練）
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏（トルマリン加工、パーリー加工）
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏（トルマリン加工、灰汁浸加工）
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏（酵素精練）
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏（酵素精練）
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏（酵素精練）、後染反物（小紋）
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏（酵素精練）
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏（パールトーン加工）
085	(株) 川平屋	愛知県豊田市	胴裏（パールトーン加工）、後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
086	丸専第一衣料（株） （丸専きもの）	新潟県長岡市	胴裏（パールトーン加工）
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地（胴裏、比翼地（振袖用））、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー
089	(株) あきやま	宮崎県綾町	先染反物、洋装品（ショール、マフラー）
090	藤井絞（株）	京都市中京区	後染反物（色無地）
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地（表地）
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地（表地）
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品（冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット）、洋装 品（スーツ地、ネクタイ、服飾品（スカーフ、ストール、シャツ））

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
096	(株) 北尾織物匠	京都市上京区	先染帯地 (袋帯、名古屋帯)
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が 5%を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が 5%を超えるもの)
100	京商 (株)	鳥取県米子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物 (色無地)、後染帯地
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(株) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道上湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世きね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が 5%を超えるもの)、絹九寸帯 (金銀糸が 5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着))
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物 (色無地)
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物 (色無地)
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋)
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏 (酵素精練)
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地 (表地用 (紋意匠))
128	大門屋	福井県大野市	白生地 (牛首紬)、後染帯地 (牛首紬)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物 (帯揚、半衿)
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物 (小紋)
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物 (小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物 (小紋)
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物 (小紋)
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物 (小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、禪
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物 (小紋)
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物 (小紋)
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物 (小紋)
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏 (トルマリン加工)、後染反物 (小紋)
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物 (色無地)、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市中京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、加賀友禅)
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、トランクス)、パジャマ
150	(有) さいとう呉服店	千葉県市川市	後染反物 (色無地、付下)
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (金銀糸が 5%を超えるもの)
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物 (型友禅、羽二重色無地)、先染反物 (ジャガード織)
155	東朋 (株)	京都府与謝郡	ストール
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、ショール
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県美方郡	後染反物 (小紋)
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (ふとん、ふとんカバー)、洋装品 (スーツ地、コート地、スカート地、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袷紗)
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物 (小紋)
162	福続織物 (株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地 (表地)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地(表地)
165	(株) 染織 こうげい	東京都中央区	白生地(表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品(布団、膝かけ)
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
174	(有) やまだ呉服店	長野県諏訪市	白生地(縮緬)
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物(置賜紬)、ストール
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県大島郡	先染反物(大島紬)、先染帯地(大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地(名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット(腹巻、靴下)

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
蚕糸・織物関連の展示を目的としている施設			
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-22-1325
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地 (敷島公園/バラ園内)	027-231-9875
織物参考館 “紫” (ゆかり)	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
きもの芸術館 ((財) 日本きもの文化協会)	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ~ 8F	03-3400-0286
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3-22-7	03-3299-2387
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鍵水 989-2	0426-76-4064
シルク博物館	231-0023	神奈川県横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
岡谷蚕糸博物館	394-0028	長野県岡谷市本町 4 丁目 1 番 39 号	0266-22-5854
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1-10-3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
キナーレきもの歴史館	948-0003	新潟県十日町市本町 6 十日町ステージ越後妻有交流館内	0257-52-0117
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109-1	0532-52-5265
川島織物セルコン、織物文化館	601-1123	京都府京都市左京区静海市原町 265	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都府京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
織成館	602-8482	京都府京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
絹の白生地資料館	604-8176	京都府京都市中京区御池通室町東入る竜池町 448-2 伊と幸ビル	075-254-5884
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050
上垣守国養蚕記念館	667-0311	兵庫県養父市大屋町大家市場 117	0796-69-1580
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
展示の一部に蚕糸・織物関連がある施設			
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204-1	059-293-0010
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5-1	0287-36-0949
大間々町歴史民族館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619-1	055-269-3399

名 称	〒	住 所	電 話
日本司法博物館（松本歴史の里）	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196-1	0263-47-4515
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564-1	0268-42-2158
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1	0574-28-1110
その他関連施設			
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
夕鶴の里資料館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025-2	0238-47-5800
松ヶ丘開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29	0235-62-3985
結城紬関連施設（結城市伝統工芸館）	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018-1	0296-32-7949
たくみの里木織の家「椽」（つるばみ）	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-1308
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344-1235	027-340-6060
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3-26-2	0424-81-7656
相模田名民家資料館	229-1124	神奈川県相模原市田名 4853 番 2（大杉公園隣り）	042-761-7118
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618-4	0263-83-3835
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号（上田城跡公園内）	0268-22-1274
塩沢つむぎ記念館（織の文化館）	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227-1	0257-82-4888
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25	0258-83-4800
白山工房（織りの資料館）	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織元田勇（田勇機業株式会社）	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112	0772-72-0307
まゆ村	616-8384	京都府京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp/>

【蚕糸絹業関係団体】

(財) 大日本蚕糸会
(財) 大日本蚕糸会 シェパードシルクセンター
(財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
T A F S (東京織物卸商業組合)
K O M S (京都織物卸商業組合)
京都和装産業振興財団
(財) 伝統的工芸品産業振興協会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://www.mawata.or.jp/>
<http://www.tanko.or.jp/>
<http://www.nishijin.or.jp/>
<http://www.tafs.or.jp/>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp/>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougei.or.jp/>

【大学・試験研究機関】

(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室
<http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>
(国) 東京農工大学農学部生物生産学科
<http://www.tuat.ac.jp/~aaseisan/>
(国) 東京農工大学工学部生命工学科
<http://www.tuat.ac.jp/~seimei/>
(国) 京都工芸繊維大学工芸学部応用生物学課程
<http://www.bio.kit.ac.jp/>
(国) 京都工芸繊維大学
<http://www.kit.ac.jp/>
(国) 信州大学繊維学部
<http://www.tex.shinshu-u.ac.jp/>
(国) 名古屋大学農学部
<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>
(国) 北海道大学応用分子生物学講座
http://www.hokudai.ac.jp/agricu/organization/bunya/l_in_bunshi_seibuts.html
(国) 九州大学大学院遺伝育種学講座蚕学研究室
<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/agpm/sangaku/>
(国) 九州大学大学院遺伝子資源工学専攻
http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/grt/igr/new_lab/index.html
(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース
<http://www.news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/departement/bio/biofunc/index.html>
(国) 山口大学農学部生物資源環境科学科
<http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>
(独) 農業生物資源研究所
<http://www.nias.affrc.go.jp>
(財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所
http://www.silk.or.jp/silk_kagaku/index.html
(財) 大日本蚕糸会 蚕糸技術研究所
http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/index.html
群馬県蚕糸技術センター (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>蚕糸技術センター)
http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=50545
群馬県繊維工業試験場 (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>繊維工業試験場)
http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=59241
京都府織物・機械金属振興センター
<http://www.silk.pref.kyoto.jp/index-sub.html>
京都市産業技術研究所繊維技術センター
<http://www.ktri.city.kyoto.jp/mainpage/sikenjo.html>

【学 会】

日本シルク学会
日本蚕糸学会
日本野蚕学会

<http://www.silk.or.jp/ssstj/>
<http://www.soc.nii.ac.jp/~jsss2/>
<http://jswsmo.appspot.com/index.html>

【博物館】

(財) シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
愛媛県西予市立野村シルク博物館
東京農工大学科学博物館

<http://www.silkmuseum.or.jp/>
<http://www.nippon-kinunosato.or.jp/>
<http://www.city.seiyo.ehime.jp/silk>
<http://www.tuat.ac.jp/~museum/index.html>

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	65
(2) 養蚕農家数の推移	66
(3) 繭生産数量の推移	67
(4) 平成24年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	68
(5) 平成24年度蚕期別、都府県別繭生産数量	69
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移(2010～2012年)	70
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	71
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	72
(9) 国産生糸価格実態	73
(10) 絹需給の推移(生糸量換算試算)	74
(11) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)	75
(12) 製糸工場の原料繭需給	76
(13) 製糸工場の操業状況	77
(14) 生糸在庫数量の内訳	78
(15) 蚕糸関係品目別輸入状況	79
(16) 生糸の原産国別輸入数量	80
(17) 絹糸の原産国別輸入数量	81
(18) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	82
(19) 絹織物生産数量	83
(20) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	84
(21) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況	85

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	86
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	87
(3) 中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数	88
(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移	89
(5) 中国のシルク類(生糸・絹糸・絹織物)の輸出状況	90
(6) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	91
(7) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率	92
(8) 中国企業別従業員年間平均賃金及び対前年増減率	93
(9) 中国産業別従業員年平均賃金の推移	94
(10) 中国省別従業員年平均賃金(2011年)	95
(11) ブラジルの繭・生糸生産数量の推移	96
(12) ブラジルの生糸・絹糸輸出数量の推移	97

一 資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item 年次 (暦年) Calendar year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台 数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
8年								
1996	7,890	3,021	383	42.7	26	58	84.7	53,815
9年								
1997	6,310	2,516	399	31.5	18	67	81.6	52,031
10年								
1998	5,070	1,980	390	18.4	13	76	74.5	38,673
11年								
1999	4,030	1,496	371	10.8	8	73	67.4	33,425
12年								
2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
13年								
2001	2,730	1,031	378	7.2	8	63	56.8	29,801
14年								
2002	2,360	880	373	6.5	17	68	51.2	26,826
15年								
2003	2,070	780	377	4.8	14	64	48.7	23,935
16年								
2004	1,850	683	369	4.4	13	62	45.6	21,895
17年								
2005	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
18年								
2006	1,345	505	375	2.0	9	82	41.6	18,507
19年								
2007	1,169	433	370	1.8	8	83	40.0	15,466
20年								
2008	1,021	382	374	1.6	7	80	38.1	14,043
21年								
2009	915	327	357	1.2	7	60	33.6	11,472
22年								
2010	756	265	351	0.9	7	49	35.9	11,612
23年								
2011	623	220	354	0.7	7	50	34.7	10,418
前年対比 (%) 2011/10	82.4	83.0	100.9	77.8	100.0	102.0	96.7	89.7

資料 ・ 平成20年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。
 ・ 平成21年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(財)大日本蚕糸会調査である。
 ・ 平成21年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査である。
 ・ 平成20年以前の絹業は経済産業省調査であり、平成21年以降絹業は(社)日本絹人織機工業会調査である。
 平成18年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。
 ・ 平成23年以降の養蚕業は(財)大日本蚕糸会調査である。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、平成14年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・ Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)
 ・ National Federation of Agricultural Co-operative Associations and The Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009)
 ・ Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009)
 ・ The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008)
 ・ Japan Silk & Rayon Weaver's Association (Silk Fabric, after 2009)

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit: number)

年次 Year	項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
1994		19,040	16,790	13,190	14,790
1995		13,640	12,450	9,560	9,580
1996		7,890	6,980	5,000	6,290
1997		6,310	5,650	4,420	5,120
1998		5,070	4,550	3,750	4,120
1999		4,030	3,600	2,710	3,280
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
2009		915	814	647	755
2010		756	650	494	637
2011		623	558	357	526
2012		567	471	293	420
対前年比 2012/11 (%)		91.0	84.4	82.1	79.8

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）、(財)大日本蚕糸会調査(2009年～)。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年).
The Dainippon Silk Foundation (2009年～)

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

年 次 Year	項 目 Item	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
		年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕	年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕
		Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm
		t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
1994		7,724	3,036	2,044	2,644	406	181	155	170
1995		5,350	2,222	1,477	1,651	392	178	155	172
1996		3,021	1,184	747	1,090	382	170	149	173
1997		2,516	982	678	857	398	174	153	167
1998		1,980	769	588	623	390	169	157	151
1999		1,496	596	391	509	371	166	144	155
2000		1,244	500	320	424	379	169	148	157
2001		1,031	391	275	365	378	162	147	161
2002		880	330	231	320	373	166	134	167
2003		775	313	210	253	374	167	140	144
2004		675	256	176	243	369	158	128	157
2005		626	243	165	218	396	171	156	162
2006		505	209	122	173	375	172	143	157
2007		433	175	110	148	371	166	152	150
2008		382	147	96	139	374	158	157	162
2009		327	124	85	118	357	152	131	156
2010		265	107	60	98	351	165	121	154
2011		220	95	49	76	353	170	137	144
2012		202	79	50	73	357	169	169	175
対前年比 2012/11 (%)		92.1	83.5	101.7	96.1	101.1	99.4	123.4	121.5
2012年 構成比 (%)		100.0	39.1	24.8	36.1				

資 料 : 農林水産省統計情報部調査 (～2001年)、全国農業協同組合連合会調査 (2002年～2004年)、
農林水産省生産局調査 (2005～2008年)、(財)大日本蚕糸会調査 (2009年～)。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年).
The Dainippon Silk Foundation (2009年～)

(4)平成24年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数

Farm households raising silk-worm by prefectures in 2012

(単位:戸、%)

都府県名	春蚕期			初秋蚕期			晩秋蚕期			年 間		
	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比
青森県	—	—	—	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
岩手県	16	16	100.0	19	16	84.2	22	17	77.3	23	21	91.3
秋田県	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宮城県	16	18	112.5	16	11	68.8	17	17	100.0	22	21	95.5
山形県	9	7	77.8	7	6	85.7	8	7	87.5	10	8	80.0
福島県	51	58	113.7	44	50	113.6	56	57	101.8	60	65	108.3
茨城県	25	25	100.0	23	23	100.0	21	21	100.0	28	28	100.0
栃木県	33	27	81.8	24	21	87.5	31	26	83.9	33	27	81.8
群馬県	239	197	82.4	139	113	81.3	227	189	83.3	261	217	83.1
埼玉県	53	48	90.6	39	29	74.4	51	43	84.3	57	49	86.0
千葉県	7	9	128.6	5	6	120.0	8	8	100.0	8	12	150.0
東京都	5	4	80.0	—	—	—	4	5	125.0	6	6	100.0
神奈川県	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新潟県	10	10	100.0	2	2	100.0	—	—	—	10	12	120.0
福井県	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
山梨県	24	23	95.8	9	8	88.9	20	18	90.0	26	24	92.3
長野県	23	16	69.6	17	16	94.1	21	14	66.7	26	22	84.6
岐阜県	16	17	106.3	—	—	—	17	14	82.4	18	17	94.4
静岡県	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
愛知県	1	2	200.0	1	2	200.0	—	—	—	1	2	200.0
兵庫県	1	1	100.0	1	1	100.0	—	1	—	1	1	100.0
島根県	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
徳島県	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
愛媛県	15	17	113.3	10	8	80.0	12	10	83.3	17	18	105.9
高知県	4	3	75.0	—	—	—	2	1	50.0	4	3	75.0
熊本県	5	7	140.0	—	—	—	3	5	166.7	5	7	140.0
宮崎県	2	2	100.0	—	2	—	2	1	50.0	2	2	100.0
鹿児島県	3	2	66.7	0	3	—	3	3	100.0	3	3	100.0
全国計	558	471	84.4	357	293	82.1	526	420	79.8	623	567	91.0

資料:(財)大日本蚕糸会調査

Source:The Dainippon Silk Foundation

(5) 平成24年度蚕期別、都府県別繭生産数量

Cocoon production by prefectures in 2012.

(単位：kg、%)

都府県等	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晩 秋 蚕 期			年間		
	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比
青森県	-	-	-	156.3	157.2	100.6%	119.3	131.8	110.5%	275.6	289.0	104.9%
岩手県	1,977.5	1,858.5	94.0%	2,318.9	2,968.4	128.0%	2,474.0	2,225.8	90.0%	6,770.4	7,052.7	104.2%
宮城県	2,127.1	2,305.8	108.4%	2,341.8	2,313.1	98.8%	2,248.6	2,633.0	117.1%	6,717.5	7,251.9	108.0%
山形県	1,315.2	1,200.6	91.3%	767.4	1,013.7	132.1%	1,638.3	1,603.9	97.9%	3,720.9	3,818.2	102.6%
福島県	11,519.5	10,681.1	92.7%	8,972.5	10,834.8	120.8%	13,617.0	14,384.8	105.6%	34,109.0	35,900.7	105.3%
茨城県	4,486.0	3,817.2	85.1%	2,323.2	2,478.9	106.7%	3,028.4	2,704.4	89.3%	9,837.6	9,000.5	91.5%
栃木県	11,488.4	7,663.1	66.7%	5,259.7	4,262.8	81.0%	9,370.2	9,605.6	102.5%	26,118.3	21,531.5	82.4%
群馬県	42,178.0	34,931.3	82.8%	18,729.3	17,645.8	94.2%	28,938.0	27,792.0	96.0%	89,845.3	80,374.1	89.5%
埼玉県	7,692.5	6,520.4	84.8%	3,308.7	2,593.8	78.4%	6,061.7	4,757.8	78.5%	17,062.9	13,872.0	81.3%
千葉県	1,168.6	1,213.3	103.8%	569.4	633.0	111.2%	1,113.4	944.4	84.8%	2,851.4	2,790.7	97.9%
東京都	386.0	235.1	60.9%	-	-	-	163.3	178.5	109.3%	549.3	413.6	75.3%
山梨県	3,665.7	2,978.8	81.3%	805.7	1,095.3	135.9%	2,233.2	1,769.2	79.2%	6,704.6	5,843.3	87.2%
長野県	2,714.3	2,129.2	78.4%	1,765.0	1,855.0	105.1%	2,440.2	1,974.1	80.9%	6,919.5	5,958.3	86.1%
新潟県	186.4	159.8	85.7%	54.3	-	-	-	-	-	240.7	159.8	66.4%
福井県	62.4	32.2	51.6%	21.2	18.9	89.2%	23.0	34.3	149.1%	106.6	85.4	80.1%
岐阜県	1,086.0	874.9	80.6%	-	-	-	614.1	605.0	98.5%	1,700.1	1,479.9	87.0%
愛知県	64.1	36.9	57.6%	-	62.0	-	-	-	-	64.1	98.9	154.3%
兵庫県	42.0	75.0	178.6%	35.0	38.2	109.1%	-	41.5	-	77.0	154.7	200.9%
京都府	111.4	102.5	92.0%	-	-	-	93.3	77.0	82.5%	204.7	179.5	87.7%
愛媛県	1,992.9	1,789.7	89.8%	1,350.5	1,551.1	114.9%	1,482.3	1,386.4	93.5%	4,825.7	4,727.2	98.0%
高知県	228.4	168.7	73.9%	-	-	-	86.7	15.3	17.6%	315.1	184.0	58.4%
熊本県	431.9	449.1	104.0%	-	-	-	91.8	347.9	379.0%	523.7	797.0	152.2%
宮崎県	115.2	120.4	104.5%	-	-	-	67.3	62.9%	93.4%	182.5	183.2	100.4%
鹿児島県	1.5	49.5	3300.0%	-	69.0	-	6.6	51.0	772.7%	8.1	169.5	2092.6%
全国計	95,041.0	79,393.1	83.5%	48,778.9	49,591.0	101.7%	75,910.7	73,331.6	96.6%	219,730.6	202,315.6	92.1%

資料：(財)大日本蚕糸会調査

Source: The Dainippon Silk Foundation

(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移 (2010～2012年)

Production by Sort of Silk-Worm Eggs

Item	Year	2010年 (平成22年)		2011年 (平成23年)		2012年 (平成24年)	
		箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %
錦秋1号 × 鐘和1号		3,420	26.2	2,729	24.6	2,806	27.6
錦秋 × 鐘和		2,400	18.4	2,100	19.0	1,818	17.8
ぐん × ま 200		1,627	12.5	1,388	12.5	1,443	14.2
春嶺1号 × 鐘月1号		2,072	15.9	1,419	12.8	1,175	11.5
春嶺 × 鐘月		1,001	7.7	1,002	9.0	838	8.2
かいりょう × あけぼの		487	3.7	435	3.9	416	4.1
松岡 × 姫		200	1.5	300	2.7	340	3.3
新小 × 石丸		355	2.7	396	3.6	324	3.2
芙蓉 × つくばね		300	2.3	180	1.6	143	1.4
上州 × 絹二		51	0.4	86	0.8		
世紀 × 一		191	1.5	132	1.2	95	0.9
緑繭 × 1号		56	0.4	62	0.6	27	0.3
プ ラ チ ナ ボーイ		73	0.6	66	0.6	64	0.6
朝日 × 東海				50	0.5	50	0.5
朝日 × つくばね		100	0.8	80	0.7	61	0.6
ぐん × ま 黄金丸		152	1.2	76	0.7	70	0.7
改良 × 小石 1号		87	0.7	78	0.7	33	0.3
白繭 × 細石		115	0.9	77	0.7	93	0.9
小蚕 × 太		75	0.6	72	0.6	67	0.7
蚕技 × 研 11号		26	0.2				
分離白1号 × 支 106号		53	0.4	52	0.5	36	0.4
白繭 × 細 2号		8	0.1				
新極細 × 1号		14	0.1	2	0.0		
玉小 × 山石		30	0.2	5	0.0	15	0.1
鷹 × 山		16	0.1	22	0.2	15	0.1
支 21号 × 四 川 3 眠		25	0.2	20	0.2	5	0.0
又昔 × 中 515 号		4	0.0	6	0.1	4	0.0
青熟 × 支 21 号		5	0.0				
諸桂 × 紹 白		6	0.0	8	0.1	7	0.1
黄熟 × 中 515 号		4	0.0	1	0.0	1	0.0
青鬼 × 中 515 号		5	0.0	15	0.1	33	0.3
い縮 × 中 515 号		3	0.0	2	0.0	2	0.0
鐘ろ × ど		1	0.0	1	0.0	1	0.0
鐘光 × 黄 玉		39	0.3	134	1.2	55	0.5
太平 × 長 安		35	0.3	30	0.3		
支 108号 × 青 熟		7	0.1	13	0.1	28	0.3
はく × ぎ 眠		5	0.0	7	0.1	7	0.1
秋光 × 竜 白				22	0.2	80	0.8
秋花 × 銀 嶺				5	0.0		
中 515号 × 又 昔				3	0.0		
琉球 × 多 蚕				2	0.0	2	0.0
改良 × 黄 繭				2	0.0	7	0.1
山東 × C5						10	0.1
緑繭 × 2号						7	0.1
合計						7	0.1
Total		13,048	100.0	11,080	100.0	10,185	100.0

資料：(財)大日本蚕糸会調査。

Source：The Dainippon Silk Foundation.

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export Balance of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2005	2,508	22,017	4,125	26,429	8,178	32,700	609	15,999	8,252
2006	1,956	19,974	—	20,752	9,356	31,524	568	12,959	7,578
2007	1,747	12,601	—	15,624	7,879	19,439	404	11,355	7,184
2008	1,588	15,031	—	20,115	4,584	22,636	466	11,640	7,126
2009	1,152	12,085	—	13,766	4,055	16,647	388	8,996	6,269
2010	882	12,209	—	13,817	3,329	16,306	324	9,029	6,299
2011	731	9,323	—	10,926	2,456	17,526	157	8,546	1,507
生糸年度 Silk Year									
2005	2,024	26,365	—	25,737	9,926	36,113	500	16,121	8,655
2006	1,794	13,394	—	16,873	8,241	21,561	534	10,730	7,152
2007	1,762	15,564	—	20,286	5,281	22,936	433	12,255	6,087
2008	1,378	12,137	—	14,638	4,158	18,716	378	10,320	6,806
2009	1,029	12,857	—	14,383	3,661	17,481	366	8,639	6,182
2010	814	12,207	—	13,815	2,935	16,307	324	9,000	6,299
2011	654	8,541	—	9,907	2,348	15,540	433	7,725	5,945
2011 - 10	56	765	—	790	2,462	1,165	78	515	530
11	64	550	—	820	2,256	1,202	47	656	469
12	52	717	—	569	2,456	1,001	32	636	508
2012 - 1	42	1,185	—	992	2,691	1,590	39	804	291
2	47	481	—	761	2,458	758	13	242	513
3	48	870	—	970	2,467	1,143	37	782	555
4	56	0	—	491	2,032	1,092	25	564	506
5	53	1,757	—	1,494	2,348	1,531	11	668	438
6	49	460	—	631	2,226	1,316	40	692	479
7	36	637	—	627	2,272	1,544	38	605	483
8	24	903	—	626	2,573	1,499	18	575	423
9	33	891	—	1,035	2,462	1,365	6	630	462
10	38	799	—	708	2,591	1,523	43	665	494
11	36	1,122	—	1,062	2,687	1,612	35	624	432
12	43	867	—			1,207	15	553	469
2013 - 1	38	958	—			1,744	11	598	355
2	32	906	—			1,138	13	517	409
3	36	1,148	—			1,337	44	466	525

資 料 : (A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局調査。(B) 財務省関税局調査、ただし96年1月から08年3月までの輸入は、農畜産業振興機構調査の実需者輸入分と一般者輸入分を合わせた数値。(F) (G) (H) (I) 財務省関税局調査。

備 考 : 1. 国内引渡数量(D) = { 前月在庫数量 + (A) + (B) } - { (C) + (E) }。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : (A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(B) The Customs Bureau, Ministry of Finance. But the figures for raw silk imports have been based on data of the Agriculture & Livestock Industries Corporation since Jan. 1996 until Mar. 2008, excluding bonded silk.

(F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Domestic deliveries(D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸の織度別生産数量の推移

Raw Silk Production by Sizes

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	生 糸 Raw Silk					
	計 Total	18デニール以下 17/19or 17/19 finer	21デニール 20/22	27デニール 26/28	31デニール 30/32	その他 Others	
暦 年 Calendar Year							
	2005	2,508	8	337	834	799	527
	2006	1,956	4	240	531	653	523
	2007	1,747	5	259	495	514	474
	2008	1,588	4	289	421	368	503
	2009	1,152	1	243	392	251	262
	2010	882	1	179	316	86	300
	2011	607	1	145	215	80	169
	2012	506	0	149	202	73	82
生糸年度 Silk Year							
	2005	2,024	6	261	510	726	518
	2006	1,794	4	269	480	562	475
	2007	1,762	5	276	443	495	537
	2008	1,378	1	291	447	280	360
	2009	1,029	—	205	358	208	242
	2010	814	1	176	273	55	309
	2011	652	1	164	239	117	134
	2011 - 8	53	1	9	24	6	13
	9	59	—	15	23	6	17
	10	56	—	23	14	12	7
	11	64	—	6	37	10	12
	12	52	—	19	10	16	7
	2012 - 1	42	—	7	9	16	10
	2	47	—	15	10	17	5
	3	48	—	6	33	3	6
	4	56	—	17	19	11	9
	5	53	—	23	8	13	9
	6	49	—	15	29	0	5
	7	36	—	11	10	4	11
	8	24	—	8	12	0	4
	9	33	—	5	21	0	7
	10	39	—	14	14	4	7
	11	36	—	18	16	0	2
	12	43	—	10	21	5	7
	2013 - 1	38	—	16	3	10	9
	2	32	—	6	12	5	9
	3	36	—	10	15	3	8

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会(2010.4～)。

備 考：kgを60kg俵に換算しているので、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3). Central Raw Silk Association (2010.4～).

Remarks : Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 国産生糸価格実態

Japanese Raw Silk Actual Condition Price

単位：円／k g
(Unit：Yen/k g)

Year & Month \ Size		21d	27d	31d	平均 Average
2005		3,870	3,173	3,107	3,383
2006		4,617	4,267	4,080	4,321
2007		3,961	3,625	3,573	3,720
2008		4,266	3,754	3,489	3,836
2009		4,171	3,598	3,136	3,635
2010		4,152	3,891	3,564	3,869
2011		5,261	4,923	5,260	5,148
2012		5,622	5,094	5,513	5,410
2011 —	1	4,267	4,287	4,127	4,220
	2	4,763	4,737	4,967	4,967
	3	4,800	4,619	4,556	4,658
	4	4,942	4,593	4,865	4,800
	5	5,188	4,699	4,853	4,913
	6	5,200	5,035	4,750	4,995
	7	5,600	5,109	5,327	5,345
	8	5,602	5,106	5,586	5,431
	9	5,778	5,237	6,078	5,698
	10	5,455	5,282	5,872	5,536
	11	5,733	5,138	5,657	5,509
	12	5,800	5,257	6,043	5,700
2012 —	1	5,745	4,908	6,119	5,591
	2	5,788	5,181	6,125	5,698
	3	5,859	5,006	6,177	5,681
	4	5,907	5,391	5,693	5,664
	5	5,190	4,973	5,300	5,154
	6	5,713	5,076	5,167	5,319
	7	5,700	5,088	5,208	5,332
	8	5,600	5,214	5,233	5,349
	9	5,278	4,931	5,267	5,159
	10	6,033	5,138	5,055	5,409
	11	5,168	4,984	5,300	5,151
	12	5,488	5,239	—	5,410

注：国産生糸価格実態は、調査対象生糸売買業者の平均取引価格である。

資料：（社）日本生糸問屋協会

Remarks：Japan raw silk actual condition price is average trade price among domestic dealers

Source：Japan Raw Silk Dealer's Association

(10) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import					輸 出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③			
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
1990	462	164	95	203	35	16	59	93	290	13	—	0	9	4	277	172
1991	494	172	92	230	46	29	62	93	327	11	0	0	7	4	316	167
1992	460	167	85	208	26	21	60	101	308	11	—	0	7	4	297	152
1993	483	152	71	260	25	38	65	132	345	11	—	0	7	4	334	138
1994	525	138	65	322	26	37	64	195	390	10	—	0	7	3	380	135
1995	515	135	54	326	30	31	61	204	377	11	0	1	8	2	366	138
1996	507	138	43	326	35	49	62	180	374	13	0	0	9	4	361	133
1997	401	133	32	236	34	35	43	124	270	14	0	0	11	3	256	131
1998	345	131	18	196	28	23	28	117	222	13	0	0	11	2	209	123
1999	361	123	11	227	41	28	31	127	242	13	0	0	11	2	229	119
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	152	16	0	0	15	1	136	43
対前年比 2010/09 (%)	95	75	100	102	100	100	107	102	80	100	—	—	100	100	78	91

資 料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報より、農林水産省生産局がとりまとめたものである。

ただし、2000年以降は農林水産省生産局の協力により、(社)日本生糸問屋協会が試算推計したものである。

Source : "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"(arranged by Agricultural Production Bureau, MAFF)

After 2000, estimated by Japan Raw Silk Dealer's Association through collaboration with Agricultural Production, Bureau MAFF.

(11) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）

Breakdown of Silk Second Products Imports (Raw Silk Value Estimation)

（単位：千俵）

(Unit: 1,000 Bales of 60kg)

項目 Item		暦年 Calendar Year	2005	2006	2007	2008	2009	2010	前年比% y/y	構成比% ratio
布 は く 製 Product made in cloth	男子用外衣類 Men's upper garments		2.7	3.7	3.9	2.5	1.8	2.8	155.6	2.1
	女子用外衣類 Women's upper garments		59.9	56.6	50.0	40.2	37.1	38.4	103.5	28.9
	うちブラウス Blouse of the inside		3.7	3.5	3.0	3.4	2.8	2.4	85.7	1.8
	男子用下着・寝具衣料 Men's underwear・bedding cloth		5.8	5.7	2.2	1.6	1.1	1.0	90.9	0.8
	女子用下着・寝具衣料 Women's underwear・bedding cloth		16.1	15.1	15.0	16.3	13.5	13.9	103.0	10.5
	ハンカチ Handkerchief		1.9	1.0	0.5	0.5	0.4	0.3	75.0	0.2
	ショール、スカーフ類 Shawl, scarves		3.4	2.7	3.0	2.9	2.5	2.2	88.0	1.7
	ネクタイ類 Ties		25.2	21.4	21.6	20.8	18.2	18.1	99.5	13.6
	メリヤス、クロセス編物 Knit. kurose knitting		19.9	18.5	21.2	19.8	15.9	17.9	112.6	13.5
その他の洋装類 Other western clothes			26.7	26.3	25.4	23.7	22.0	21.0	95.5	15.8
洋装類計 Western clothes subtotal			161.6	151.0	143.0	128.3	112.4	115.6	102.8	86.9
和装類計 Japanese clothes subtotal			17.4	18.4	15.5	14.7	15.9	14.5	91.2	10.9
うち絹製の帯小物等 Silk obi accessorys of the inside			14.1	16.0	12.9	12.1	13.9	12.5	89.9	9.4
その他 Others			2.1	2.5	2.5	2.4	1.9	2.9	152.6	2.2
合 計 Total			181.0	171.9	161.0	145.4	130.2	133.0	102.2	100.0

資料：財務省「日本貿易月報」により（社）日本生糸問屋協会で作成したものである。

注：ラウンドにより合計が一致しないことがある。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance "Trade Statistics"

(arranged by Raw Silk Dealer's Association)

Note: Total may not added up due to round off.

(12) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month		項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks	
暦 年 Calendar Year					
2005			806	830	589
2006			600	645	541
2007			548	581	505
2008			393	518	378
2009			308	385	313
2010			240	299	263
2011			189	162	237
2012			185	209	183
生糸年度 Silk Year					
2005			837	693	390
2006			562	599	349
2007			502	583	266
2008			406	452	224
2009			324	337	209
2010			260	281	188
2011			202	224	144
2011 — 10			41	20	256
11			19	21	254
12			0	17	237
2012 — 1			4	15	226
2			0	16	210
3			0	16	194
4			0	19	168
5			9	18	144
6			37	16	165
7			24	12	177
8			39	7	201
9			3	11	193
10			56	15	234
11			4	11	227
12			9	53	183
2013 — 1			0	11	172
2			1	10	163
3			0	13	150

資 料：農林水産省生産局調査(～2010. 3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010. 4～)。

備 考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010. 3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010. 4～).

Remarks：1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(13) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

項 目 Item 年 月 Year & Month	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
		運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year						
2005	10	203	126	62	269	111
2006	9	114	94	82	266	103
2007	8	112	93	83	266	100
2008	7	112	90	80	266	90
2009	7	118	71	60	259	82
2010	7	118	58	49	247	73
2011	7	110	57	52	188	65
2012	7	110	39	35	243	56
2011 — 4	7	118	55	47	21	66
5	7	110	55	50	20	64
6	7	110	52	47	21	60
7	7	110	55	50	22	56
8	7	110	53	48	20	64
9	7	110	64	58	21	65
10	7	110	57	52	21	66
11	7	110	55	50	21	66
12	7	110	57	52	21	65
2012 — 1	7	110	51	46	18	63
2	7	110	48	44	19	63
3	7	110	47	43	19	63
4	7	110	53	48	22	57
5	7	110	60	55	21	56
6	7	110	50	45	22	56
7	7	110	38	35	14	57
8	7	110	24	22	20	52
9	7	110	29	26	21	52
10	7	110	40	36	23	56
11	7	110	41	37	22	58
12	7	110	39	35	22	56
2013 — 1	7	110	41	37	20	55
2	7	110	36	33	21	55
3	7	110	35	32	22	55

資 料 : 農林水産省生産局調査(～2010. 3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010. 4～)。

備 考 : 1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010. 3).
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010. 4～).

Remarks : 1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.
2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.
3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(14) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

項 目 Item	總 計 Grand Total	一 般 在 庫 Stock in markets					農畜産業振興機構 Stock of Agriculture & Livestock Industries Corporation		
		計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場 売買業者 Dealers	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers	受 入 数 量 Accepts	引 渡 数 量 Deliveries	在庫数量 Ending Stocks
年 月 Year & Month									
暦 年 Calendar Year									
2005	8,178	8,178	721	139	7,008	310	22,017	26,142	—
2006	9,356	9,356	446	50	8,606	254	19,974	19,974	—
2007	8,080	8,080	359	20	7,358	343	12,601	12,601	—
2008	4,584	4,584	310	15	3,536	723	1,459	1,459	—
2009	4,055	4,055	355	10	3,162	528			
2010	3,329	3,329	319	0	2,354	656			
2011	2,456	2,456	288	0	1,651	517			
生糸年度 (6～5) Silk Year									
2005	9,926	9,926	373	170	8,923	460	26,365	26,365	—
2006	8,241	8,241	473	20	7,564	184	13,394	13,394	—
2007	5,281	5,281	305	15	4,241	720			
2008	4,205	4,205	376	15	3,266	515			
2009	3,661	3,661	358	0	2,795	508			
2010	2,999	2,999	285	0	2,014	700			
2011	2,348	2,348	304	0	1,481	583			
2011 — 3	3,563	3,563	288	0	2,511	764			
4	3,154	3,154	288	0	2,182	684			
5	2,999	2,999	285	0	2,014	700			
6	2,932	2,932	213	0	2,110	609			
7	2,872	2,872	229	0	2,095	548			
8	2,882	2,882	243	0	2,168	471			
9	2,431	2,431	281	0	1,729	421			
10	2,462	2,462	273	0	1,664	525			
11	2,256	2,256	282	0	1,559	415			
12	2,456	2,456	288	0	1,651	520			
2012 — 1	2,691	2,691	277	0	1,825	586			
2	2,458	2,458	271	0	1,694	493			
3	2,467	2,467	273	0	1,696	498			
4	2,032	2,032	284	0	1,380	368			
5	2,348	2,348	304	0	1,481	563			
6	2,226	2,226	299	0	1,344	538			
7	2,272	2,272	283	0	1,474	515			
8	2,573	2,573	280	0	1,656	637			
9	2,462	2,462	267	0	1,698	497			
10	2,591	2,591	263	0	1,764	564			
11	2,687	2,687	248	0	1,842	597			

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～)。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～)。

(15) 蚕糸関係品目別輸入状況（平成20年～25年3月）

Breakdown of Silk-Related Products Imports (2008～Mar. 2013)

	単位 Unit	平成25年(2013)		平成24年 (2012)	平成23年 (2011)	平成22年 (2010)	平成21年 (2009)	平成20年 (2008)	24年/23年 2012/11 (%)
		(3月) Mar.	(累計) Accumulated Total						
生糸・玉糸計 Raw Silk and Doupion Silk	俵 Bale s of 60kg	1,148	3,012	10,032	9,323	12,209	12,085	15,242	107.6
絹糸 Silk Yarn	俵 Bale s of 60kg	1,337	4,219	16,179	17,526	16,306	16,647	22,636	92.3
野蚕糸 Wild Raw Silk	俵 Bale s of 60kg	—	1,874	4,879	—	82	149	317	—
繭 Cocoon	kg	—	—	6,250	4,050	13,158	9,800	4,000	154.3
真綿 Floss Silk	kg	—	—	—	—	—	—	29,071	—
ペニエ Peigne	kg	—	—	—	—	—	35,331	2,770	—
くず繭 Waste Cocoon	kg	230	620	6,457	10,885	9,395	33,450	23,770	59.3
絹ノイル Silk Noil	kg	—	—	—	—	—	—	202,220	—
その他の絹 くず Other Silk Waste	kg	2,731	15,464	107,023	98,732	134,852	103,122	193,125	108.4
絹のくず計 Silk Waste Total	kg	2,961	16,084	107,022	109,617	144,247	171,903	450,956	97.6
絹紡糸 Spun silk yarn from silk waste other than noil	kg	49,859	120,487	482,523	394,920	451,219	335,710	526,662	122.2
絹紡細糸 Spun silk yarn from noil silk	kg	11,597	33,946	140,188	118,404	104,374	97,554	143,585	118.4
絹織物 Silk Fabrics	m ²	465,513	1,580,960	7,403,581	8,545,903	9,029,003	8,996,010	11,540,335	86.6

資料：財務省関税局

備考：絹ノイルと真綿の統計は、平成21年1月より廃止された。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance

(16) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位 : 60 k g 俵)
(Unit : Bales of 60kg)

年 月 Year & Month 曆 年 Calendar Year	国 名 Country	計	中国	ブラジル	ベトナム	タイ	その他
		Total	China	Brazil	Vietnam	Thailand	Others
2008		15,242 (137)	10,969 (102)	4,152 (35)	-	122	-
2009		12,085 (72)	8,170 (51)	3,855 (21)	-	41	-
2010		12,209 (65)	8,411 (40)	3,706 (25)	-	32	-
2011		9,323 (63)	7,170 (32)	2,136 (30)	-	5	-
2012		10,032 (49)	8,628 (36)	1,403 (13)	-	-	-
生糸年度 Silk Year							
2008		12,138 (103)	8,572 (89)	3,435 (14)	11	122	-
2009		12,857 (66)	8,787 (38)	3,896 (28)	11	73	-
2010		12,172 (79)	9,062 (65)	3,068 (14)	1	39	-
2011		8,602 (53)	6,846 (21)	1,754 (32)	1	39	-
2011	- 6	760 (7)	416	344 (7)	-	-	-
	7	489 (10)	389	100 (10)	-	-	-
	8	547 (10)	292	254 (10)	-	-	-
	9	420	420	-	-	-	-
	10	765 (5)	491	272 (5)	-	3	-
	11	550	325	225	-	-	-
	12	717	697	20	-	3	-
2012	- 1	1,185	1,149	36	-	-	-
	2	481 (10)	289 (10)	193	-	-	-
	3	931 (6)	870 (6)	61	-	-	-
	4	0	0	0	-	-	-
	5	1,757 (5)	1,508 (5)	249	-	-	-
	6	460	360	99	-	-	-
	7	637 (6)	526	110 (6)	-	-	-
	8	903 (5)	817	81 (5)	-	-	-
	9	891	750	141	-	-	-
	10	799 (7)	660 (5)	139 (2)	-	-	-
	11	1,122 (5)	963 (5)	159	-	-	-
	12	867 (5)	736 (5)	130	-	-	-
2013	- 1	958 (10)	918 (10)	40	-	-	-
	2	906 (9)	698 (7)	207 (2)	-	-	-
	3	1,148 (17)	1,083 (17)	65	-	-	-

資 料 : 財務省関税局調査

備 考 : 1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.

2. Figures in parenthesis indicate the break down for dupion silk imports

(17) 絹糸の原産国別輸入数量 Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

国名 Country 年月 Year & Month	計 Total	韓 国 S Korea	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
暦 年 Calendar Year								
2008	22,636	143	12,513	6,865	12	—	3,204	12
2009	16,647	—	9,656	5,096	12	—	1,742	137
2010	16,306	—	9,675	4,161	16	—	1,716	205
2011	17,526	—	10,384	5,129	7	—	1,339	212
2012	16,179	—	9,924	4,908	15	—	1,109	223
生糸年度 Silk Year								
2008	18,716	23	10,677	5,700	11	—	2,242	64
2009	17,481	—	9,940	5,065	7	—	1,953	186
2010	3,471	—	2,275	916	8	—	208	71
2011	15,540	—	9,060	4,364	44	—	1,713	303
2011 — 4	1,674	—	1,124	448	2	—	99	3
5	1,797	—	1,151	468	1	—	109	68
6	1,731	—	906	628	—	—	197	1
7	1,489	—	910	432	0	—	155	1
8	1,498	—	730	432	0	—	225	—
9	1,340	—	745	543	1	—	51	—
10	1,165	—	542	309	—	—	243	70
11	1,202	—	672	297	—	—	232	—
12	1,001	—	692	219	—	—	28	61
2012 — 1	1,590	—	1,075	353	—	—	80	80
2	758	—	378	216	1	—	162	—
3	1,143	—	747	281	2	—	113	—
4	1,092	—	662	326	—	—	103	—
5	1,531	—	1,001	328	—	—	124	78
6	1,316	—	727	514	1	—	75	—
7	1,554	—	907	488	—	—	97	53
8	1,499	—	897	561	—	—	41	—
9	1,365	—	773	506	1	—	73	12
10	1,523	—	953	456	3	—	112	—
11	1,612	—	982	568	5	—	56	—
12	1,207	—	824	310	1	—	71	—
2013 — 1	1,744	—	1,080	612	—	—	52	—
2	1,138	—	616	429	—	—	93	—
3	1,337	—	940	342	5	—	50	—

資 料：財務省関税局調査。

備 考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : Country volume may not add up the total volume due to round off.

(18) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価

Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵, K g /円

項 目 Item	輸入生糸（通関ベース）				輸入絹糸（通関ベース）					
	Raw Silk Imprt				Silk Yarn Import					
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
年 月 Year & Month										
暦 年 Calendar Year										
1999	27,446	2,439	14,602	3,026	11,729	2,979	6,069	3,706	2,886	3,277
2000	30,147	2,655	11,772	3,340	13,769	2,789	5,712	3,543	6,255	3,168
2001	22,018	2,824	8,339	3,713	10,303	3,149	5,130	3,790	6,607	3,688
2002	24,521	2,241	7,909	3,192	13,256	2,556	6,097	3,299	7,122	3,053
2003	24,074	1,988	7,260	2,436	17,408	2,182	6,223	2,740	7,167	2,499
2004	18,016	2,435	7,387	3,631	13,280	2,576	7,444	3,038	7,076	2,624
2005	17,327	2,638	5,308	2,903	18,977	3,105	5,767	3,301	7,550	2,933
2006	14,739	3,736	6,181	4,188	17,019	4,172	5,675	4,543	8,706	3,643
2007	8,793	3,321	3,846	3,778	11,726	3,586	2,930	4,305	4,744	3,972
2008	12,190	3,104	4,153	3,490	12,627	3,361	3,204	3,989	6,865	3,220
2009	8,120	2,740	3,965	3,059	9,656	2,840	1,742	3,611	5,116	3,034
2010	8,411	3,667	3,706	3,773	9,675	3,730	1,706	4,161	4,606	3,411
2011	4,113	4,469	1,413	5,492	6,349	4,707	1,722	5,398	3,659	4,402
2012	8,628	4,289	1,398	5,277	9,926	4,383	1,119	6,032	4,908	4,494
2011 - 5	1,082	4,767	198	4,505	1,151	4,946	109	5,022	468	4,040
6	416	4,792	344	4,510	906	4,967	197	5,412	628	4,579
7	389	4,893	100	5,918	910	4,990	155	5,741	432	4,726
8	292	4,570	254	4,964	730	4,922	255	5,594	763	4,710
9	421	4,483	0	0	745	4,665	51	5,991	543	4,792
10	491	4,174	272	5,310	542	4,735	283	5,833	309	4,655
11	325	4,199	225	5,209	673	4,432	232	6,027	297	4,681
12	697	4,469	20	5,492	692	4,309	28	6,313	219	4,560
2012 - 1	1,149	4,180	36	5,260	1,075	4,131	92	5,958	353	4,345
2	289	4,024	193	5,297	378	4,137	162	5,560	216	4,264
3	870	4,296	61	5,241	747	4,323	113	6,187	281	4,731
4	0	0	0	0	662	4,372	103	6,065	326	4,887
5	1,508	4,311	249	5,220	1,001	4,304	124	6,048	328	4,625
6	360	4,347	99	5,005	727	4,370	75	5,876	515	4,703
7	526	4,220	110	5,013	907	4,502	97	5,930	488	4,591
8	817	4,130	81	5,151	897	4,433	41	5,850	561	4,402
9	750	4,212	141	5,353	773	4,315	73	6,167	506	4,320
10	660	4,151	139	5,333	953	4,295	112	6,224	456	4,435
11	963	4,405	159	5,417	982	4,514	56	6,347	568	4,130
12	736	4,758	130	5,571	824	4,815	71	6,599	310	4,755
2013 - 1	918	5,103	40	6,180	1,080	5,172	52	7,079	612	5,084
2	698	6,029	207	6,284	616	5,574	93	7,318	429	5,362
3	1,083	5,733	65	6,749	940	5,959	50	7,806	342	5,789

資 料：財務省調査。通関統計による、単価はC I F 価格である。

Source：The customs Bureau, Ministry of Finance

Remarks：A unit price is CIF price.

(19) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位 : 1,000m²)
(Unit : 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics 年 月 Year & Month	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crape	先 練 (先染) Dyed Yarn	後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
暦 年 Calendar Year									
2006	18,507	6,105	2,732	1,727	1,646	9,311	5,966	3,345	3,090
2007	15,466	5,215	2,276	1,547	1,392	7,709	4,671	3,038	2,542
2008	14,043	4,887	2,061	1,419	1,407	6,929	4,263	2,666	2,228
2009	11,472	4,015	1,732	1,193	1,090	5,663	3,449	2,214	1,794
2010	11,612	3,844	1,510	1,254	1,080	6,212	4,029	2,183	1,556
2011	10,319	3,941	2,486	184	1,257	4,396	1,796	2,590	1,982
2012	9,944	4,533	2,474	199	1,871	3,161	1,769	1,393	2,247
2011 — 11	892	341	215	16	109	380	155	224	171
12	902	345	217	16	110	384	157	226	173
2012 — 1	801	365	199	16	151	255	143	112	181
2	818	373	204	16	154	260	146	115	185
3	829	378	206	17	156	263	147	116	187
4	829	378	206	17	156	263	147	116	187
5	863	393	215	17	162	274	154	121	195
6	883	403	220	18	166	281	157	124	200
7	863	393	215	17	162	274	154	121	195
8	743	339	185	15	140	236	132	104	168
9	716	326	178	14	135	228	127	100	162
10	873	398	217	17	164	278	155	122	197
11	877	400	218	18	165	279	156	123	198
12	849	387	211	17	160	270	151	119	192
2013 — 1	828	377	206	17	156	263	147	116	187
2	838	382	209	17	158	266	149	117	189
3	852	388	212	17	160	271	152	119	192

資 料 : (社) 日本絹人織織物工業会。

備 考 : 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver' s Association.

Remarks : Spun and mixed fabrics included .

Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(20) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2005	19,821	90.3	1,058,571	94.5	170,061	92.6	691,780	88.7
2006	18,526	93.5	912,027	86.2	132,448	78.1	598,040	86.4
2007	15,479	83.6	712,560	78.1	97,204	73.0	977,719	163.5
2008	13,914	89.9	656,919	92.2	88,401	90.8	867,490	88.7
2009	9,930	71.4	503,365	76.6	73,681	84.0	746,538	86.1
2010	11,661	117.4	515,721	102.5	84,023	110.0	859,244	115.1
2011	10,319	88.5	475,989	92.3	70,803	84.3	695,143	80.9
2012	9,944	96.4	451,503	94.9	62,910	88.9	645,679	92.9
2011 — 1	814	97.6	32,734	102.6	5,452	91.0	61,927	96.0
2	873	93.0	42,369	91.7	6,027	94.7	60,552	88.7
3	902	93.5	41,784	95.3	6,898	88.3	56,128	74.1
4	989	99.2	44,774	100.7	6,507	83.6	59,998	69.1
5	840	85.6	39,714	93.4	6,096	89.3	62,562	88.8
6	911	82.6	41,785	94.6	6,072	79.2	60,832	84.0
7	834	82.2	43,509	98.5	5,399	72.9	53,800	84.2
8	779	86.5	34,386	86.3	6,064	82.6	49,057	81.2
9	788	81.9	38,639	82.6	5,394	74.0	61,501	94.7
10	821	82.5	39,116	84.3	5,589	92.5	51,586	66.1
11	879	87.5	37,346	82.5	5,929	84.0	62,567	90.8
12	889	92.0	39,833	88.5	5,376	90.3	52,433	77.0
2012 — 1	801	98.4	29,890	91.3	4,787	87.8	51,823	83.7
2	818	93.7	38,352	90.5	5,632	93.4	65,046	107.4
3	829	91.9	37,766	90.4	5,306	76.9	62,163	110.8
4	829	83.8	42,234	94.3	5,614	86.3	57,688	96.1
5	863	102.7	33,283	83.8	6,109	100.2	56,873	90.9
6	883	96.9	43,214	103.4	5,335	87.9	47,616	78.3
7	863	103.5	39,999	91.9	5,967	110.5	47,268	87.9
8	743	95.0	31,797	92.5	4,052	67.0	45,892	93.5
9	716	91.0	39,579	102.4	5,051	93.6	44,900	73.0
10	873	106.0	36,734	93.9	5,159	92.3	55,813	108.2
11	877	100.5	38,312	102.5	4,994	84.2	56,530	101.3
12	849	95.5	40,343	101.3	4,904	91.2	54,067	103.1
2013 — 1	828	103.3	25,024	83.7	4,453	93.0	54,617	105.4
2	838	102.4	41,930	109.3	4,632	82.2	52,253	80.3
3	852	102.4	37,110	98.3	4,306	81.2	55,771	89.7
4			38,904	92.1	5,498	97.9		

資 料：絹織物生産数量は(社)日本絹人織物工業会調査。主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備 考：2006年1月以降の西陣の帯生産数量には、帯裏地等を含む。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association and Japan Raw Silk Dealer's Association.

Remarks : Since Jan.2006, sash livings are included in sash production.

(21) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況

Consumption Expenditures of Total Households

項目 Item 年月 Year & Month	消費支出総額 Total		被服及び履物 Clothing&footwear		和服 Japanese clothing		洋服 Clothing		シャツ・セーター Shirts & sweaters		下着類 Underwear	
	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)
暦年Calendar Year												
2005	300,903	▲ 1.1	13,440	▲ 1.0	440	▲ 7.8	5,122	▲ 2.6	2,911	▲ 0.9	1,260	3.9
2006	294,943	▲ 2.0	12,776	▲ 1.0	342	▲ 7.8	5,007	▲ 2.6	2,694	▲ 0.9	1,184	3.9
2007	297,782	1.0	12,933	1.2	345	0.9	5,066	1.2	2,727	1.2	1,164	▲ 1.7
2008	296,932	▲ 0.3	12,523	▲ 3.2	299	▲ 13.3	4,890	▲ 3.5	2,598	▲ 4.7	1,133	▲ 2.7
2009	291,737	▲ 0.2	11,994	▲ 3.3	261	▲ 12.0	4,622	▲ 4.2	2,468	▲ 4.0	1,098	▲ 2.9
2010	290,244	0.3	11,499	▲ 2.9	245	▲ 6.0	4,459	▲ 2.3	2,353	▲ 3.8	1,069	▲ 1.0
2011	283,569	▲ 2.5	11,601	▲ 1.0	320	10.0	4,111	▲ 4.2	2,564	3.1	1,213	2.9
2012	286,169	0.9	11,453	▲ 2.5	246	▲ 7.2	4,305	1.2	2,410	▲ 6.6	1,087	▲ 6.9
2011 - 6	265,807	▲ 3.5	11,384	▲ 0.6	113	44.8	3,620	▲ 7.0	2,907	5.5	1,234	11.8
7	280,046	▲ 2.1	12,078	▲ 1.9	281	▲ 63.3	4,068	4.0	3,103	1.9	1,329	6.1
8	282,008	▲ 4.1	8,921	1.8	456	159.0	2,693	▲ 9.6	2,059	▲ 2.8	943	▲ 0.5
9	270,010	▲ 1.9	8,709	▲ 5.0	221	▲ 44.4	2,966	▲ 3.7	1,895	▲ 1.6	863	▲ 5.1
10	285,605	▲ 0.4	13,099	2.3	625	161.8	5,023	▲ 0.2	2,790	4.8	1,201	▲ 7.4
11	273,428	▲ 3.2	13,230	5.6	490	122.6	5,026	0.1	2,649	10.0	1,280	▲ 1.1
12	328,080	0.5	13,786	7.7	54	▲ 21.5	5,382	3.3	2,547	10.9	1,644	15.9
2012 - 1	283,124	▲ 2.3	13,148	4.3	271	125.6	5,496	0.9	2,675	5.5	1,132	▲ 0.2
2	267,855	2.3	8,829	0.5	380	34.9	3,713	▲ 3.3	1,543	4.5	733	0.4
3	303,841	3.4	12,167	10.2	148	▲ 67.1	5,512	10.2	2,065	13.2	878	14.9
4	301,948	2.6	11,687	4.3	95	2.9	4,399	5.4	2,434	1.1	934	5.0
5	287,911	4.0	11,592	▲ 2.5	124	150.1	3,801	▲ 7.2	2,771	▲ 0.7	1,072	▲ 6.6
6	269,810	1.6	11,208	▲ 1.4	169	49.2	3,627	0.4	2,760	▲ 5.4	1,169	▲ 4.5
7	283,295	1.7	11,920	▲ 1.5	239	▲ 15.4	3,923	▲ 3.7	3,161	0.7	1,286	▲ 2.8
8	286,036	1.8	8,627	▲ 3.0	381	▲ 17.1	2,685	0.0	2,062	0.5	960	1.9
9	266,705	▲ 0.9	8,436	▲ 2.9	188	▲ 15.8	2,900	▲ 1.9	1,876	▲ 1.0	837	▲ 2.5
10	284,238	▲ 0.1	12,195	▲ 6.7	244	▲ 61.4	4,637	▲ 7.5	2,559	▲ 8.2	1,129	▲ 5.6
11	273,772	0.2	13,814	4.8	545	10.3	5,394	7.8	2,541	▲ 3.8	1,382	8.5
12	325,492	▲ 0.7	13,813	0.5	172	215.0	5,571	4.0	2,475	▲ 2.7	1,526	▲ 6.9
2013 - 1	288,934	2.4	12,301	▲ 6.7	28	▲ 89.8	5,208	▲ 6.0	2,592	▲ 3.3	1,110	▲ 1.4
2	268,099	0.8	9,117	3.8	194	▲ 49.2	4,053	9.5	1,647	7.6	738	0.8
3	316,166	5.2	13,271	9.3	138	▲ 7.3	6,177	11.2	2,357	16.1	848	▲ 3.2

資料:総務省統計局「家計調査報告」。2人以上で構成される8,000世帯を集計。

備考:「被服及び履物」は右に並ぶ内訳4項目以外の費目も含む。年数値は月平均。

Source:Family Income and Expenditure Survey by Statistics Bureau, MIC.

Added up 8,000 two-or-more-person households.

Remarks:Clothing&footwear includes japanese clothing ,clothing ,shirts&sweaters and other items.

Year value is mean of the each month

－資料・海外－

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2005年	2006年	2007年
		トン	トン	トン
日本	Japan	626	505	433
中国	China	621,461	739,715	779,261
インド	India	126,261	135,462	132,038
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	7,146	8,051	8,617
タイ	Thailand	10,650	10,100	1,785
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	2,543	2,104	1,665
トルコ	Turkey	170	350	130
インドネシア	Indonesia	691	339	470
ブルガリア	Bulgaria	42	65	55
ギリシャ	Greece	70	100	104
フィリピン	Philippines	14.4	16	9
シリア	Syria	5.5	3	2.5
主要国の計	Total	810,680	937,810	965,570

区 分		2008年	2009年	2010年
		トン	トン	トン
日本	Japan	382	327	265
中国	China	683,387	575,299	617,915
インド	India	124,834	131,661	131,924
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	6,266	4,835	4,439
タイ	Thailand	7,700	4,655	4,655
ウズベキスタン	Uzbekistan	25,760	25,896	20,000
イラン	Iran	1,185	1,185	1,185
トルコ	Turkey	126	140	140
インドネシア	Indonesia	273	133	161
ブルガリア	Bulgaria	48	51	75
ギリシャ	Greece	100	100	100
フィリピン	Philippines	6	4	4
シリア	Syria	3	4	4
主要国の計	Total	871,070	765,290	801,867

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(2)世界主要国の家蚕生糸生産数量

Domesticated Raw Silk Production in Major Countries

区 分		2005年		2006年		2007年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	151	2,500	119	2,000	105	1,800
中国	China	87,761	1,462,700	93,105	1,552,000	108,420	1,807,000
インド	India	15,445	257,400	16,525	275,400	16,245	270,800
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,285	21,400	1,387	23,100	1,220	20,300
タイ	Thailand	1,420	23,700	1,080	18,000	760	12,700
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	395	6,600	324	5,400	253	4,200
トルコ	Turkey	30	500	25	400	20	300
インドネシア	Indonesia	91	1,500	47	800	65	1,100
ブルガリア	Bulgaria	6	100	5	100	7.5	100
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1.1	0	1.6	0	1	0
シリア	Syria	0.7	0	0.5	0	0	0
主要国の計	Total	109,940	1,832,300	115,973	1,933,100	130,451	2,174,200

区 分		2008年		2009年		2010年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	95	1,600	69	1,200	53	900
中国	China	98,620	1,643,700	92,455	1,540,900	95,778	1,596,300
インド	India	15,610	260,200	16,322	272,000	16,360	272,700
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,177	19,600	811	13,500	770	12,800
タイ	Thailand	1,100	18,300	665	11,100	665	11,100
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,417	23,600	2,447	40,800	2,100	35,000
イラン	Iran	180	3,000	180	3,000	180	3,000
トルコ	Turkey	15	300	20	300	20	300
インドネシア	Indonesia	37	600	19	300	20	300
ブルガリア	Bulgaria	7.5	100	6.3	100	9.4	160
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1	0	1	0	1	0
シリア	Syria	0.4	0	0.6	0	0.6	0
主要国の計	Total	120,514	2,008,600	115,250	1,920,800	118,211	1,970,160

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(3)中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数

Domesticated Cocoon Production, Raw Silk Production, and Number of Filatures in China

省 Province	区分	家蚕繭生産量 Domesticated Cocoon Production (トン、%)(MT, %)			生糸生産量 Raw silk Production (トン、%)(MT, %)		
		2009	2010	対前年比 2010/09	2009	2010	対前年比 2010/09
山 西	Shanxi	4,046	5,894	146	266	182	68
河 北	Hebei	1,200	1,500	125	-	-	-
江 蘇	Jiangsu	73,175	77,399	106	17,800	16,000	90
浙 江	Zhejiang	45,600	57,000	125	15,000	14,436	96
安 徽	Anhui	24,800	25,000	101	5,200	6,438	124
江 西	Jiangxi	7,602	7,000	92	2,900	3,591	124
山 東	Shandong	23,900	22,000	92	5,800	7,510	129
河 南	Henan	10,101	7,500	74	2,100	103	5
湖 北	Hubei	17,150	10,600	62	555	446	80
湖 南	Hunan	3,182	2,452	77	104	197	189
広 東	Guangdong	53,321	39,300	74	1,722	1,711	99
広 西	Guangxi	172,900	214,000	124	16,237	18,164	112
重 慶	Chongqing	17,311	17,200	99	4,200	4,000	95
四 川	Sichuan	70,000	71,000	101	14,900	14,900	100
貴 州	Guizhou	2,751	1,460	53	105	134	128
雲 南	Yunnan	30,230	40,000	132	2,237	2,138	96
陝 西	Shaanxi	17,200	17,600	102	3,263	3,664	112
甘 肅	Gansu	253	304	120	-	-	-
寧 夏	Ningxia	126	126	100	-	-	-
新 疆	Xinjiang	450	580	129	-	-	-
内 蒙 古	Inner Mongolia	-	-	-	66	64	97
合 計	Total	575,299	617,915	107	92,455	95,778	104

製糸工場数（件） Number of Filatures		
2006	2008	前年比 2008/06
702	682	97

資料：中国絲綢協会資料による

注：合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移

Domesticated Cocoon Production in China (1998年～2009年)

(単位：万トン) (Unit: 10,000ton)

地域	Area	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	前年比 10/09(%)
北 京	Beijing													
天 津	Tianjin													
河 北	Hebei	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				0.1	0.1	0.1	0.2	125
山 西	Shanxi	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6	0.4	0.6	146
内 蒙 古	Inner Mongolia													
遼 寧	Liaoning													
吉 林	Jilin													
黒 龍 江	Heilongjiang													
上 海	Shanghai						0.0	0.0						
江 蘇	Jiangsu	8.2	9.0	10.1	11.9	10.7	11.1	10.1	11.8	10.4	9.5	7.3	7.7	106
浙 江	Zhejiang	9.4	9.5	11.0	9.9	7.9	7.6	7.5	8.5	8.4	6.4	4.6	5.7	125
安 徽	Anhui	2.1	2.5	2.7	2.8	2.6	2.7	3.4	3.8	3.8	3.3	2.5	2.5	101
福 建	Fujian													
江 西	Jiangxi	0.3	0.3	0.5	0.7	0.8	1.0	1.1	1.2	1.2	1.0	0.8	0.7	92
山 東	Shandong	4.2	5.3	6.9	6.9	6.7	3.5	3.7	4.0	4.0	3.5	2.4	2.2	92
河 南	Henan	1.2	1.3	1.5	1.7	1.1	0.7	0.9	1.3	1.4	1.2	1.0	0.8	74
湖 北	Hubei	1.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	1.4	1.6	1.6	2.1	1.7	1.1	62
湖 南	Hunan			0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	77
広 東	Guangdong	2.3	3.1	4.5	5.3	5.2	2.7	3.4	6.9	8.1	7.1	5.3	3.9	74
広 西	Guangxi	1.9	3.0	5.6	7.4	8.7	9.2	14.8	18.5	20.5	17.1	17.3	21.4	124
海 南	Hainan													
重 慶	Chongqing	2.4	3.0	3.2	3.4	2.8	2.6	3.1	2.4	2.5	2.2	1.7	1.7	99
四 川	Sichuan	8.1	8.7	9.2	9.3	9.3	8.3	7.8	7.8	8.4	6.9	7.0	7.1	101
貴 州	Guizhou	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.4	0.3	0.1	53
雲 南	Yunnan	0.7	0.7	0.9	1.1	1.3	1.9	2.0	3.1	3.7	4.0	3.0	4.0	132
チベット	Tibet													
陝 西	Shaanxi	1.5	1.5	1.6	1.7	1.9	1.6	2.0	1.8	2.5	2.4	1.7	1.8	102
甘 肅	Gansu						0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
青 海	Qinghai													
寧 夏	Ningxia						0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	
新 疆	Xinjiang	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
合 計	Total	44.7	50.1	60.2	64.5	61.1	55.0	62.2	73.9	77.9	68.3	57.5	61.8	107

資料：2003年までは中国国家统计局「中国統計年鑑」、2004年以降は中国絲綢協会資料による。

合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: Until 2003, "China Statistical Yearbook" National Bureau of Statistics of China

Since 2004, China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(5) 中国のシルク類(生糸、絹糸、絹織物)の輸出状況

Silk Exports of China
(2012年1月～12月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11 (%)	2012年実績	12/11 (%)
1 インド	India	4,505,837	109.52	210,390	100.64
2 ベトナム	Vietnam	783,904	125.53	38,084	124.02
3 ルーマニア	Romania	729,411	100.11	35,729	93.89
4 日本	Japan	482,249	119.68	25,830	114.45
5 韓国	South Korea	412,421	88.43	20,393	83.14
6 イタリア	Italy	309,833	99.30	15,627	90.46
7 バングラデシュ	Bangladesh	105,212	119.12	4,869	111.62
8 ミャンマー	Myanmar	99,217	120.59	4,827	114.80
9 ブラジル	Brazil	41,321	93.39	2,253	95.72
10 ブルガリア	Bulgaria	39,232	250.59	2,008	237.55
11 その他	Others	165,357	68.19	8,442	66.12
合計	Total	7,673,994	107.75	368,452	100.47

Silk Exports of China
(2013年1月～4月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2013年実績	13/12 (%)	2013年実績	13/12 (%)
1 インド	India	1,169,352	94.81	62,712	111.32
2 ルーマニア	Romania	282,411	118.64	15,617	133.35
3 ベトナム	Vietnam	273,096	144.39	14,797	173.84
4 日本	Japan	157,964	102.44	9,364	114.97
5 イタリア	Italy	121,602	121.76	6,993	139.64
6 韓国	South Korea	116,575	75.49	6,583	88.92
7 バングラデシュ	Bangladesh	40,985	95.55	2,228	121.53
8 ブラジル	Brazil	30,894	177.99	1,861	198.63
9 チュニジア	Tunisia	16,043	199.54	0,919	209.83
10 ミャンマー	Myanmar	13,894	40.39	0,766	48.54
11 その他	Others	37,659	57.32	2,106	66.21
合計	Total	2,260,475	101.09	123,946	117.95

相手国	Country	絹糸 Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11 (%)	2012年実績	12/11 (%)
1 日本	Japan	655,083	100.22	35,489	94.83
2 インド	India	399,229	45.92	19,203	43.04
3 イタリア	Italy	370,973	69.85	19,699	64.49
4 ドイツ	Germany	256,806	128.67	13,932	135.84
5 パキスタン	Pakistan	249,628	92.67	12,357	88.13
6 韓国	South Korea	188,559	103.41	9,625	98.64
7 タイ	Thailand	108,350	79.70	5,628	71.47
8 インドネシア	Indonesia	75,921	80.69	3,737	76.81
9 ベトナム	Vietnam	47,662	143.83	2,312	135.88
10 香港	Hong Kong	27,214	205.14	1,036	197.85
11 その他	Others	196,543	97.95	9,827	94.46
合計	Total	2,575,968	80.94	133,927	78.30

相手国	Country	絹糸 Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2013年実績	13/12 (%)	2013年実績	13/12 (%)
1 日本	Japan	249,852	126.46	14,536	138.78
2 インド	India	149,756	89.52	8,158	109.57
3 イタリア	Italy	143,418	121.71	8,631	142.28
4 ドイツ	Germany	83,625	99.53	5,117	115.75
5 パキスタン	Pakistan	52,498	63.24	3,013	78.03
6 韓国	South Korea	50,893	78.76	2,939	97.19
7 タイ	Thailand	31,813	94.83	1,899	113.07
8 カンボジア	Cambodia	19,277	890.80	0,493	439.33
9 ブラジル	Brazil	10,023	235.56	0,659	305.69
10 ベトナム	Vietnam	8,738	31.69	0,460	35.24
11 その他	Others	51,946	66.53	3,278	92.57
合計	Total	851,839	99.05	49,183	116.70

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11 (%)	2012年実績	12/11 (%)
1 パキスタン	Pakistan	60,795,118	123.71	221,429	136.62
2 イタリア	Italy	30,611,776	91.29	173,999	93.77
3 インド	India	22,883,399	71.21	107,334	74.15
4 香港	Hong Kong	14,413,983	98.38	104,429	102.96
5 韓国	South Korea	11,463,400	82.42	76,701	91.32
6 アラブ首長国連邦	United Arab Em	9,815,910	134.63	61,898	169.70
7 日本	Japan	9,265,038	89.70	43,154	92.75
8 マレーシア	Malaysia	7,114,607	111.84	38,315	100.89
9 米国	United States	5,571,051	89.10	42,063	95.11
10 トルコ	Turkey	3,799,272	73.73	21,575	79.00
11 その他	Others	1,251,674	80.75	166,336	89.02
合計	Total	206,985,228	95.19	943,958	100.01

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2013年実績	13/12 (%)	2013年実績	13/12 (%)
1 パキスタン	Pakistan	14,614,389	102.99	63,100	122.21
2 イタリア	Italy	7,705,182	74.17	47,864	82.59
3 インド	India	5,325,218	71.49	26,377	77.02
4 香港	Hong Kong	3,614,794	75.79	28,002	82.76
5 韓国	South Korea	3,185,693	79.20	23,100	97.78
6 日本	Japan	2,885,136	90.25	14,326	100.35
7 アラブ首長国連邦	United Arab Em	2,674,129	121.43	16,889	131.01
8 マレーシア	Malaysia	2,336,174	94.57	14,416	97.98
9 アメリカ	United States	1,488,713	73.01	12,420	86.53
10 トルコ	Turkey	1,246,197	99.92	7,527	112.57
11 その他	Others	7,642,163	70.78	46,399	84.52
合計	Total	52,717,788	83.98	300,420	93.52

資料:中国税関

Source: Customs General Administration in China

(6)中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格

Spot Price of Various Silk Goods

2013年4月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)		114.2 ~ 121.7	1,713 ~ 1,826
2	玉繭(double cocoon)		91.4 ~ 99.4	1,370 ~ 1,491
3	キビソ(frison)	(多条機)multi-ends reel	90.2 ~ 96.0	1,353 ~ 1,439
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	100.6 ~ 110.3	1,509 ~ 1,654
5	ビス(bisu)		70.4 ~ 76.6	1,056 ~ 1,149
6	生糸(raw silk)	21d、工場検査	363.4 ~ 367.4	5,451 ~ 5,511
7	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	364.6 ~ 369.9	5,469 ~ 5,549
8	生糸(raw silk)	42d、工場検査	354.0 ~ 358.2	5,309 ~ 5,373
9	玉糸(doupion silk)	110d	304.7 ~ 313.6	4,570 ~ 4,704
10	土糸(native silk)	110d	286.1 ~ 294.7	4,292 ~ 4,420
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
11	羽二重(habutae)	45吋(inch)10匁(mom)	33.42 ~ 34.48	501 ~ 517
12	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	28.00 ~ 29.06	420 ~ 436
13	シャンタン(shantung)	45吋(inch)16匁(mom)	50.00 ~ 51.00	750 ~ 765
14	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	52.42 ~ 53.48	786 ~ 802
15	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	45.19 ~ 46.19	678 ~ 693
16	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	38.96 ~ 39.90	584 ~ 598

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

注:1元=15円

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

Remarks:Rate 1Yuan=15Yen

2013年5月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)		112.9 ~ 123.1	1,806 ~ 1,970
2	玉繭(double cocoon)		84.7 ~ 95.6	1,355 ~ 1,530
3	キビソ(frison)	(多条機)multi-ends reel	85.6 ~ 93.2	1,370 ~ 1,491
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	97.6 ~ 105.7	1,562 ~ 1,691
5	ビス(bisu)		72.1 ~ 78.8	1,154 ~ 1,261
6	生糸(raw silk)	21d、工場検査	369.4 ~ 374.0	5,910 ~ 5,984
7	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	371.6 ~ 378.6	5,946 ~ 6,058
8	生糸(raw silk)	42d、工場検査	359.4 ~ 366.8	5,750 ~ 5,869
9	玉糸(doupion silk)	110d	303.7 ~ 314.8	4,859 ~ 5,037
10	土糸(native silk)	110d	281.9 ~ 289.7	4,510 ~ 4,635
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
11	羽二重(habutae)	45吋(inch)10匁(mom)	33.18 ~ 34.32	531 ~ 549
12	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	27.52 ~ 28.52	440 ~ 456
13	シャンタン(shantung)	45吋(inch)16匁(mom)	49.80 ~ 50.80	797 ~ 813
14	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	52.07 ~ 53.07	833 ~ 849
15	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	44.83 ~ 45.83	717 ~ 733
16	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	39.07 ~ 40.13	625 ~ 642

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

注:1元=16円

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

Remarks:Rate 1Yuan=16Yen

(7) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率

Total Wage Bill of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	賃金総額（億元） Wage Bill (100million yuan)				対前年増減率（％） Indices (preceding year=100)			
	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective -owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective -owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1996年	9,249.4	6,893.3	1,269.4	801.7	12.0	11.7	4.9	19.2
1997年	9,602.4	7,323.9	1,283.9	994.5	3.8	6.2	1.1	24.0
1998年	9,540.2	6,934.6	1,054.9	1,550.7	▲ 0.6	▲ 5.3	▲ 17.8	55.9
1999年	10,155.9	7,289.9	995.8	1,870.1	6.5	5.1	▲ 5.6	20.6
2000年	10,954.7	7,744.9	950.7	2,259.1	7.9	6.2	▲ 4.5	20.8
2001年	12,205.4	8,515.2	898.5	2,791.7	11.4	9.9	▲ 5.5	23.6
2002年	13,638.1	9,138.0	863.9	3,636.2	11.7	7.3	▲ 3.9	30.3
2003年	15,329.6	9,911.9	867.1	4,550.6	12.4	8.5	0.4	25.1
2004年	17,615.0	11,038.2	876.2	5,700.6	14.9	11.4	1.0	25.3
2005年	20,627.1	12,291.7	906.4	7,429.0	17.1	11.4	3.4	30.3
2006年	24,262.3	13,920.6	983.8	9,357.9	17.6	13.3	8.5	26.0
2007年	29,471.5	16,689.1	1,108.1	11,674.3	21.5	19.9	12.6	24.8
2008年	35,289.5	19,487.9	1,203.2	14,598.4	19.7	16.8	8.6	25.0
2009年	40,288.2	21,862.7	1,273.3	17,152.1	14.2	12.2	5.8	17.5
2010年	47,269.9	24,886.4	1,433.7	20,949.7	17.3	13.8	12.6	22.1
2011年	59,954.7	28,954.8	1,737.4	29,262.4	26.8	16.3	21.2	39.7

資料：中国統計年鑑(2012)

Source: China Statistical Yearbook 2012

(8) 中国企業別従業員年間平均賃金及びその対前年増減率

Average Wage of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	年平均賃金 (元) Average Wage (yuan)				対 前 年 増 減 率 (%) Indices(preceding year=100)							
					名 目 賃 金Average Wage				実 質 賃 金Average Real Wage			
	全体Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1996年	5,980	6,207	4,312	8,521	11.8	11.8	9.6	10.3	2.8	2.7	0.7	1.3
1997年	6,444	6,679	4,516	9,092	7.8	7.6	4.7	6.7	4.5	4.4	1.6	3.5
1998年	7,446	7,579	5,314	9,241	15.5	13.5	17.7	1.6	16.2	14.2	18.4	2.3
1999年	8,319	8,443	5,758	10,142	11.7	11.4	8.4	9.8	13.2	12.9	9.8	11.2
2000年	9,333	9,441	6,241	11,238	12.2	11.8	8.4	10.8	11.3	10.9	7.5	9.9
2001年	10,834	11,045	6,851	12,437	16.1	17.0	9.8	10.7	15.3	16.2	9.0	9.9
2002年	12,373	12,701	7,636	13,486	14.2	15.0	11.5	8.4	15.4	16.2	12.6	9.5
2003年	13,969	14,358	8,627	14,843	12.9	13.0	13.0	10.1	11.9	12.0	12.0	9.1
2004年	15,920	16,445	9,723	16,519	14.0	14.5	12.7	11.3	10.3	10.9	9.1	7.7
2005年	18,200	18,978	11,176	18,362	14.3	15.4	14.9	11.2	12.5	13.6	13.1	9.4
2006年	20,856	21,706	12,866	21,004	14.6	14.4	15.1	14.4	12.9	12.7	13.4	12.7
2007年	24,721	26,100	15,444	24,271	18.5	20.2	20.0	15.6	13.4	15.0	14.8	10.6
2008年	28,898	30,287	18,103	28,552	16.9	16.0	17.2	17.6	10.7	9.8	11.0	11.4
2009年	32,244	34,130	20,607	31,350	11.6	12.7	13.8	9.8	12.6	13.7	14.8	10.8
2010年	36,539	38,359	24,010	35,801	13.3	12.4	16.5	14.2	9.8	8.9	12.9	10.7
2011年	41,799	43,483	28,791	41,323	14.4	13.4	19.9	15.4	8.6	7.7	13.9	9.6

中国統計年鑑2012 Source:China Statistical Yearbook 2012

(9)中国産業別従業員年平均賃金の推移

Average Wage of Employed Persons in Urban Units by Sector

(単位:元)(yuan)

産業別 Sector	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
農、林、牧、漁業 Agriculture, Forestry, Fishery	7,498	8,207	9,269	10,847	12,560	14,356	16,717	19,469
採掘業 Mining	16,774	20,449	24,125	28,185	34,233	38,038	44,196	52,230
製造業 Manufacturing	14,251	15,934	18,225	21,144	24,404	26,810	30,916	36,665
電力、ガス、水道業 Production/Distribution of Electricity, Gas and Water	21,543	24,750	28,424	33,470	38,515	41,869	47,309	52,723
建築業 Construction	12,578	14,112	16,164	18,482	21,223	24,161	27,529	32,103
交通、運輸、倉庫、郵便業 Transport, Storage and Post	18,071	20,911	24,111	27,903	32,041	35,315	40,466	47,078
情報通信コンピューターサービス Information Transmission, Computer Service and Software	33,449	38,799	43,435	47,700	54,906	58,154	64,436	70,918
卸売、小売業 Wholesale and Retail Trades	13,012	15,256	17,796	21,074	25,818	29,139	33,635	40,654
ホテル、飲食業 Hotels and Catering Services	12,618	13,876	15,236	17,046	19,321	20,860	23,382	27,486
金融業 Financial Intermediation	24,299	29,229	35,495	44,011	53,897	60,398	70,146	81,109
不動産業 Real Estate	18,467	20,253	22,238	26,085	30,118	32,242	35,870	42,837
賃貸、リース業 Leasing and Business Services	18,723	21,233	24,510	27,807	32,915	35,494	39,566	46,976
科学研究、技術サービス業 Scientific Research, Technical Services	23,351	27,155	31,644	38,432	45,512	50,143	56,376	64,252
水利、環境管理業 Manage of Water Conservancy, Environment and Public Services	12,884	14,322	15,630	18,383	21,103	23,159	25,544	28,868
家庭サービス業 Services to Households and Other Services	13,680	15,747	18,030	20,370	22,858	25,172	28,206	33,169
教育 Education	16,085	18,259	20,918	25,908	29,831	34,543	38,968	43,194
衛生、社会保障、社会福祉業 Health, Social Securities and Entertainment	18,386	20,808	23,590	27,892	32,185	35,662	40,232	46,206
文化、スポーツ、娯楽業 Culture, Sports and Entertainment	20,522	22,670	25,847	30,430	34,158	37,755	41,428	47,878
公共機関、社会团体 Public Management and Social Organization	17,372	20,234	22,546	27,731	32,296	35,326	38,242	42,062
合 計 Total	15,920	18,200	20,856	24,721	28,898	32,244	36,539	41,799

(出所)中国統計年鑑2012

Source: China Statistical Yearbook 2012

上記を円(Yen)換算

産業別 Sector	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
製造業 Manufacture	192,389	212,560	273,375	317,160	366,060	375,340	401,908	476,645
合 計 Total	214,920	242,788	312,840	370,815	433,470	451,416	475,007	543,387
年別人民元yuan／円yenレート	13.50	13.34	15.00	15.00	15.00	14.00	13.00	13.00

(10) 中国省別従業員年平均賃金(2011年)

Average Wage of Employed Persons Urban Units by Region

省(区)別 Region			年平均賃金(単位: 元)(yuan)	円換算(円) (yen)	対全国平均比(%) Indices(average=100)
北	京	Beijing	75,482	981,266	180.58
天	津	Tianjin	55,658	723,554	133.16
河	北	Hebei	35,309	459,017	84.47
山	西	Shanxi	39,230	509,990	93.85
内	蒙	Inner Mongolia	41,118	534,534	98.37
遼	寧	Liaoning	38,154	496,002	91.28
吉	林	Jilin	33,610	436,930	80.41
黒	龍	Heilongjiang	31,302	406,926	74.89
上	海	Shanghai	75,591	982,683	180.84
江	蘇	Jiangsu	45,487	591,331	108.82
浙	江	Zhejiang	45,162	587,106	108.05
安	徽	Anhui	39,352	511,576	94.15
福	建	Fujian	38,588	501,644	92.32
江	西	Jiangxi	33,239	432,107	79.52
山	東	Shandong	37,618	489,034	90.00
河	南	Henan	33,634	437,242	80.47
湖	北	Hubei	36,128	469,664	86.43
湖	南	Hunan	34,586	449,618	82.74
広	東	Guangdong	45,060	585,780	107.80
広	西	Guangxi	33,032	429,416	79.03
海	南	Hainan	36,244	471,172	86.71
重	慶	Chongqing	39,430	512,590	94.33
四	川	Sichuan	37,330	485,290	89.31
貴	州	Guizhou	36,102	469,326	86.37
雲	南	Yunnan	34,004	442,052	81.35
西	蔵	Tibet	49,464	643,032	118.34
陝	西	Shaanxi	38,143	495,859	91.25
甘	肅	Gansu	32,092	417,196	76.78
青	海	Qinghai	41,370	537,810	98.97
寧	夏	Ningxia	42,703	555,139	102.16
新	疆	Xinjiang	38,238	497,094	91.48
全国平均		Average	41,799	543,387	100.00

(出所) 中国統計年鑑2012 Source: China Statistical Yearbook 2012

(注) 1元=13円 Note: 1yuan=13yen

(11)ブラジルの繭・生糸生産数量の推移
Cocoon and Raw Silk Production in Brazil

シルク年度 Silk Year (9～8月) (Sep-Aug)	繭生産量 Cocoon Production (トン)(Ton)	暦年 Calendar Year	生糸生産量 Raw Silk Production (kg)	生糸生産量 Raw Silk Production (俵換算) (Bale value)
1991/92	17,586	1991	2,077,155	34,619
1992/93	19,134	1992	2,296,053	38,268
1993/94	18,260	1993	2,325,809	38,763
1994/95	16,260	1994	2,535,440	42,257
1995/96	15,368 (95%)	1995	2,467,524 (97%)	41,125
1996/97	14,811 (96%)	1996	2,242,000 (91%)	37,367
1997/98	14,594 (99%)	1997	2,120,129 (95%)	35,335
1998/99	10,305 (71%)	1998	1,820,745 (86%)	30,346
1999/2000	8,473 (82%)	1999	1,553,722 (85%)	25,895
2000/01	9,916 (117%)	2000	1,389,356 (89%)	23,156
2001/02	10,238 (103%)	2001	1,484,905 (107%)	24,748
2002/03	9,966 (97%)	2002	1,607,485 (108%)	26,791
2003/04	8,005 (80%)	2003	1,562,563 (97%)	26,043
2004/05	7,146 (89%)	2004	1,512,133 (97%)	25,202
2005/06	8,051 (113%)	2005	1,284,510 (85%)	21,409
2006/07	8,617 (107%)	2006	1,387,289 (108%)	23,121
2007/08	6,266 (73%)	2007	1,219,562 (88%)	20,326
2008/09	4,835 (77%)	2008	1,176,885 (97%)	19,615
2009/10	4,439 (92%)	2009	811,020 (69%)	13,517
2010/11	3,038 (68%)	2010	770,000 (95%)	12,833
2011/12	2,619 (86%)	2011	557,633 (72%)	9,294
2012/2013 〔見込み〕 〔Estimate〕	2,431 (93%)	2012	439,504 (79%)	7,325

資料:ブラタク製糸株式会社

注: ()内は対前年比

[]内の見込みは2013年3月現在

Source: Fiação de Seda Brtác S.A

Note: Figures in parenthesis are compared to the previous year.

Estimates are as of March 2013.

(12)ブラジルの生糸・絹糸輸出数量の推移

Raw Silk and Thrown Silk Yarns Exportation

区 分		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
		kg %	kg %	kg %	kg %	kg %
日本	Japan	388,498 34%	442,264 44%	296,578 34%	294,346 38%	245,106 48%
ベトナム	Vietnam	381,433 33%	243,950 25%	308,464 36%	217,347 28%	126,563 25%
フランス	France	96,764 8%	101,391 10%	74,747 9%	53,441 7%	87,886 17%
イタリア	Italy	93,903 8%	83,032 8%	68,418 8%	143,159 19%	39,295 8%
韓国	South Korea	33,924 3%	43,844 4%	25,259 3%	27,916 4%	0
トルコ	Turkey	54,529 5%	21,370 2%	16,165 2%	21,131 3%	3,660 1%
ドイツ	Germany		6,095 1%		3,742 0%	6,143 1%
インド	India	68,687 6%	38,072 4%	73,181 8%	3,600 0%	0
チュニジア	Tunisia	8,466 1%	2,428 0%		2,609 0%	1,205 0%
スイス	Switzerland	17,861 2%	11,344 1%	758 0%	256 0%	0
その他	the others	6,232 0%	1,012 0%	3,189 0%	242 0%	200 0%
合 計	Total	1,150,297 100%	994,801 100%	866,759 100%	767,789 100%	510,058 100%

資 料 : ブラタク製糸株式会社

Source : Fiação de Seda Brtac S.A

※「シルクレポート」の主要記事と統計データは、当支援センターのホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

シルクレポート 2013 年 7 月号 NO.31 平成 25 年 7 月 1 日発行

編集 / 発行
(問い合わせ先)

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
〒 100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 5 階
TEL : 03-3214-3500
FAX : 03-3214-3511
URL: <http://www.silk-teikei.jp/index.html>

製本 / 印刷 株式会社 正大印刷社

無断転載禁ず